

茅ヶ崎市環境基本計画
アンケート調査報告書

令和 6 年 7 月

茅ヶ崎市

目 次

1 調査の概要	1
1-1 市民アンケート調査	1
(1) 目的	1
(2) 調査地域	1
(3) 調査対象	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査期間	1
(6) 調査方法	1
(7) 回収状況	1
(8) 調査項目	1
1-2 事業所アンケート調査	2
(1) 目的	2
(2) 調査地域	2
(3) 調査対象	2
(4) 抽出方法	2
(5) 調査期間	2
(6) 調査方法	2
(7) 回収状況	2
(8) 調査項目	2
2 市民アンケート調査の結果	4
2-1 回答者自身について	4
(1) 年齢	4
(2) 居住年数	4
(3) 居住地域	4
(4) 住居の形態	5
(5) 世帯人数・構成	5
(6) 家にいる時間	6
(7) 主な交通手段	6
2-2 茅ヶ崎市の環境について	7
(1) 茅ヶ崎市の環境に関する満足度・重要性	7
(2) 市が重点的に取り組むべき環境への対策	13
2-3 普段の環境活動について	15
(1) 普段取り組んでいる環境活動	15
2-4 地球温暖化対策について	20
(1) 家庭内で実践している取り組み	20
(2) 温暖化対策機器・設備の導入状況	21
(3) 市が重点的に進めるべきだと思う施策	25
(4) 市からの地球温暖化対策に関する知識や情報提供	27

2-5 気候変動への適応の取り組みについて	28
(1) 気候変動への適応の理解	28
(2) 日頃取り組んでいる気候変動への適応	29
(3) 災害に対する備え	30
(4) 熱中症対策	31
(5) 暑さ指数(WBGT)への理解	32
(6) 熱中症対策への取り組み	33
2-6 茅ヶ崎市の生物多様性について	34
(1) 生物多様性への理解	34
(2) 保全すべき自然環境	35
(3) 重要な自然環境を有する地区の認知	36
(4) 生物多様性の保全に重要なこと	37
2-7 自由意見	38
3 事業者アンケート調査の結果	39
3-1 事業所について	39
(1) 業種	39
(2) 従業員規模	39
(3) 所在地	40
(4) 建物の形態	40
(5) 事業年数	40
3-2 事業所の環境活動について	41
(1) 日常業務で実施している環境配慮活動	41
(2) 環境活動で得られた効果	44
(3) 地域環境のための取り組み	45
(4) 環境活動に対する考え方	46
(5) 環境活動の課題	47
3-3 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて	48
(1) 地球温暖化対策の実践状況	48
(2) 地球温暖化防止機器・設備の導入状況	49
3-4 事業所の気候変動への適応の取り組みについて	53
(1) 気候変動への適応の言葉と内容	53
(2) 熱中症対策の実施状況	54
(3) 熱中症対策の取り組み	55
3-5 茅ヶ崎市の環境・市政について	56
(1) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策	56
(2) 望ましい市からのサポート	58
(3) 市が重点的に取り組むべき環境対策	59
(4) 市から情報提供の媒体	61
3-6 自由意見	62

Ⅰ 調査の概要

Ⅰ-Ⅰ 市民アンケート調査

(1) 目的

市では、「持続可能な開発目標(SDGs)」や気候変動への対応など、国内外の社会状況の変化に対応するため、令和3年4月に「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定し取り組みを進めているところです。

計画の策定から3年を迎えるにあたり、これまでの取り組みを評価し、今後の施策の参考とするため、市民の皆様に茅ヶ崎市の環境の満足度や課題等について、アンケートを実施しました。

(2) 調査地域

茅ヶ崎市全域

(3) 調査対象

茅ヶ崎市在住の満 16 歳以上の男女 2,000 人

(4) 抽出方法

「住民基本台帳」からの無作為抽出

(5) 調査期間

令和 6 年 1 月 15 日から令和 6 年 2 月 15 日

(6) 調査方法

郵送により調査票を配布、郵送またはオンラインで回収

(7) 回収状況

配布数 2,000、有効回収数 723、有効回収率 36.2%

(8) 調査項目

- ① 回答者自身について
- ② 茅ヶ崎市の環境について
- ③ 普段の環境活動について
- ④ 地球温暖化対策について
- ⑤ 気候変動への適応の取り組みについて
- ⑥ 茅ヶ崎市の生物多様性について
- ⑦ 自由意見

1-2 事業所アンケート調査

(1) 目的

市では、「持続可能な開発目標(SDGs)」や気候変動への対応など、国内外の社会状況の変化に対応するため、令和3年4月に「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定し取り組みを進めているところです。

計画の策定から3年を迎えるにあたり、これまでの取り組みを評価し、今後の施策の参考とするため、市内事業者の皆様に茅ヶ崎市の環境の満足度や課題等について、アンケートを実施しました。

(2) 調査地域

茅ヶ崎市全域

(3) 調査対象

茅ヶ崎市内の 1,000 事業所

(4) 抽出方法

茅ヶ崎市内の商工会議所の会員から無作為に抽出

(5) 調査期間

令和 6 年 1 月 15 日から令和 6 年 2 月 15 日

(6) 調査方法

郵送により調査票を配布、郵送またはオンラインで回収

(7) 回収状況

配布数 1,000、有効回収数 280、有効回収率 28.0%

(8) 調査項目

- ① 事業所について
- ② 事業所の環境活動について
- ③ 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて
- ④ 事業所の気候変動への適応の取り組みについて
- ⑤ 茅ヶ崎市の環境・市政について
- ⑥ 自由意見

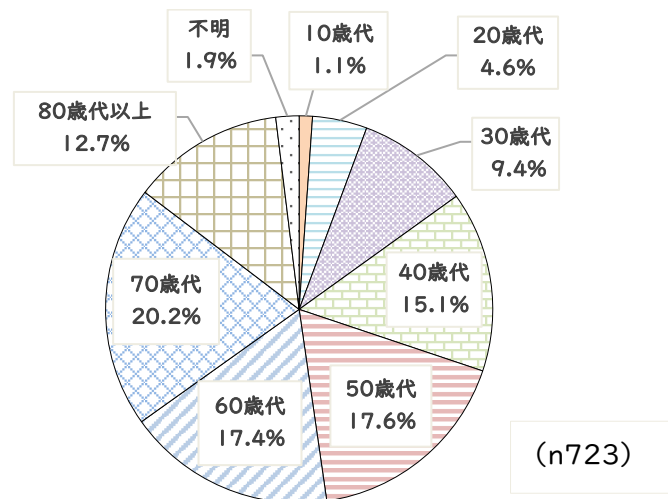
本報告書の留意点

- ・回答結果は、小数点第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析、グラフ、表においても反映しています。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（回答数）を示しています。
- ・全問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化された回答者を基数として算出しています。
- ・文中では選択肢（変数）を「」で示しています。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがあります。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『』で示しています。
- ・無回答、指定数以上の選択肢に解答している場合、記入の判断が困難な場合を「不明」としています。

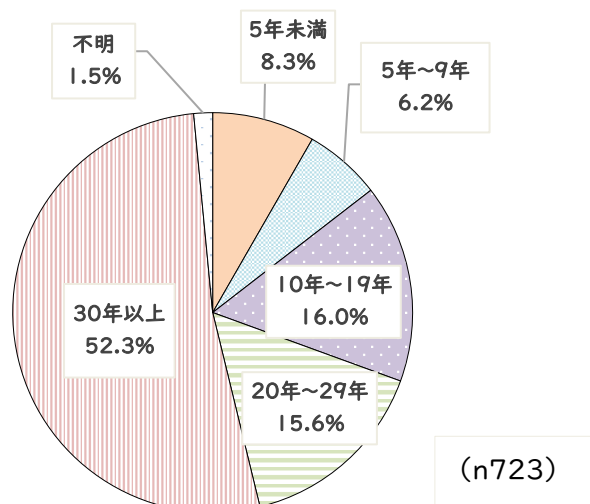
2 市民アンケート調査の結果

2-1 回答者自身について

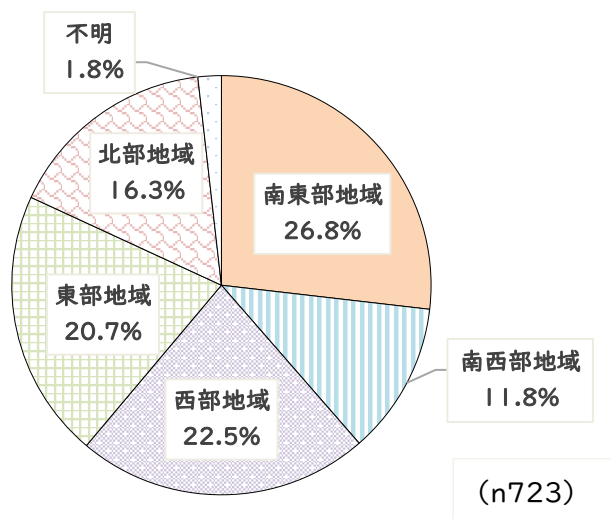
(1) 年齢



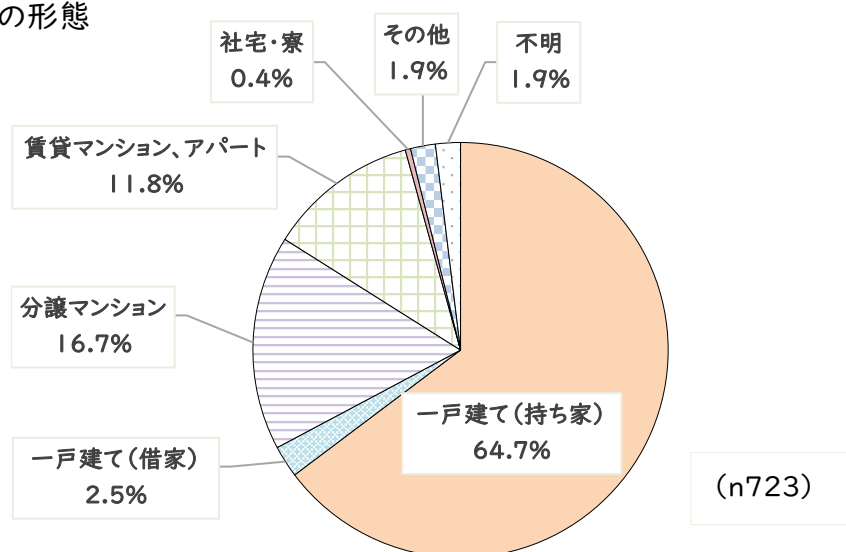
(2) 居住年数



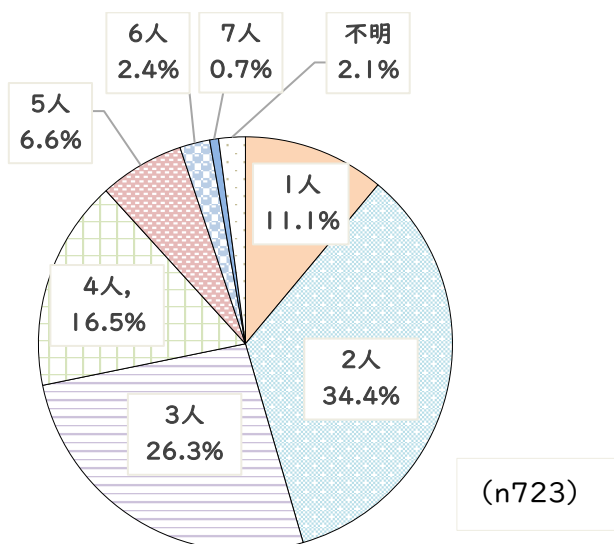
(3) 居住地域



(4) 住居の形態

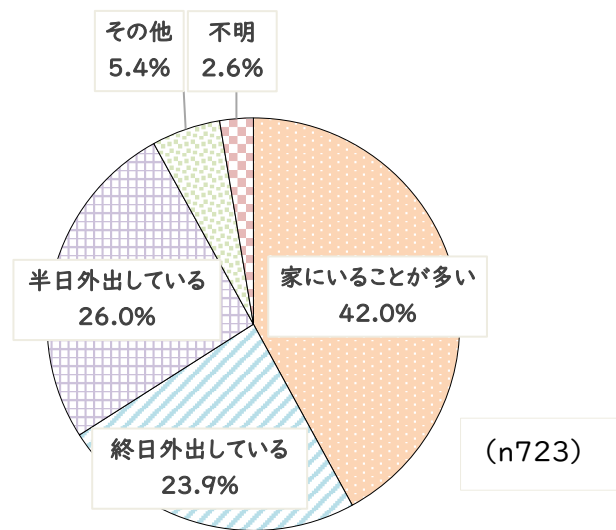


(5) 世帯人数・構成

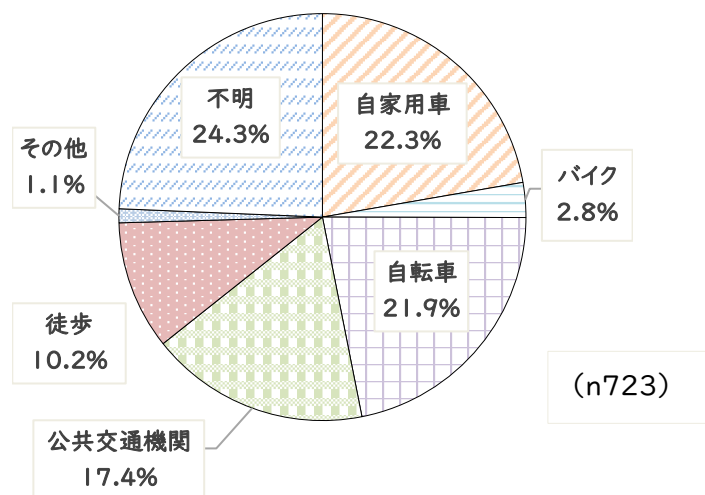


人数	世帯構成
1人	単身
2人	夫婦、親子、兄弟姉妹、単身同居、二世帯同居
3人	夫婦と子、夫婦と親、夫婦と孫、親子、親とおじ、二世帯同居、三世帯同居
4人	夫婦と子、親子、二世帯同居、三世帯同居
5人	夫婦と子、親子、二世帯同居、三世帯同居
6人	夫婦と子、二世帯同居、三世帯同居
7人	二世帯同居、三世帯同居

(6) 家にいる時間



(7) 主な交通手段



2-2 茅ヶ崎市の環境について

(1) 茅ヶ崎市の環境に関する満足度・重要性

問8【A】茅ヶ崎市の環境に関する各項目の満足度について、日頃どのように感じていますか。

あてはまる番号 1～5の中から1つだけ○で囲んでください。

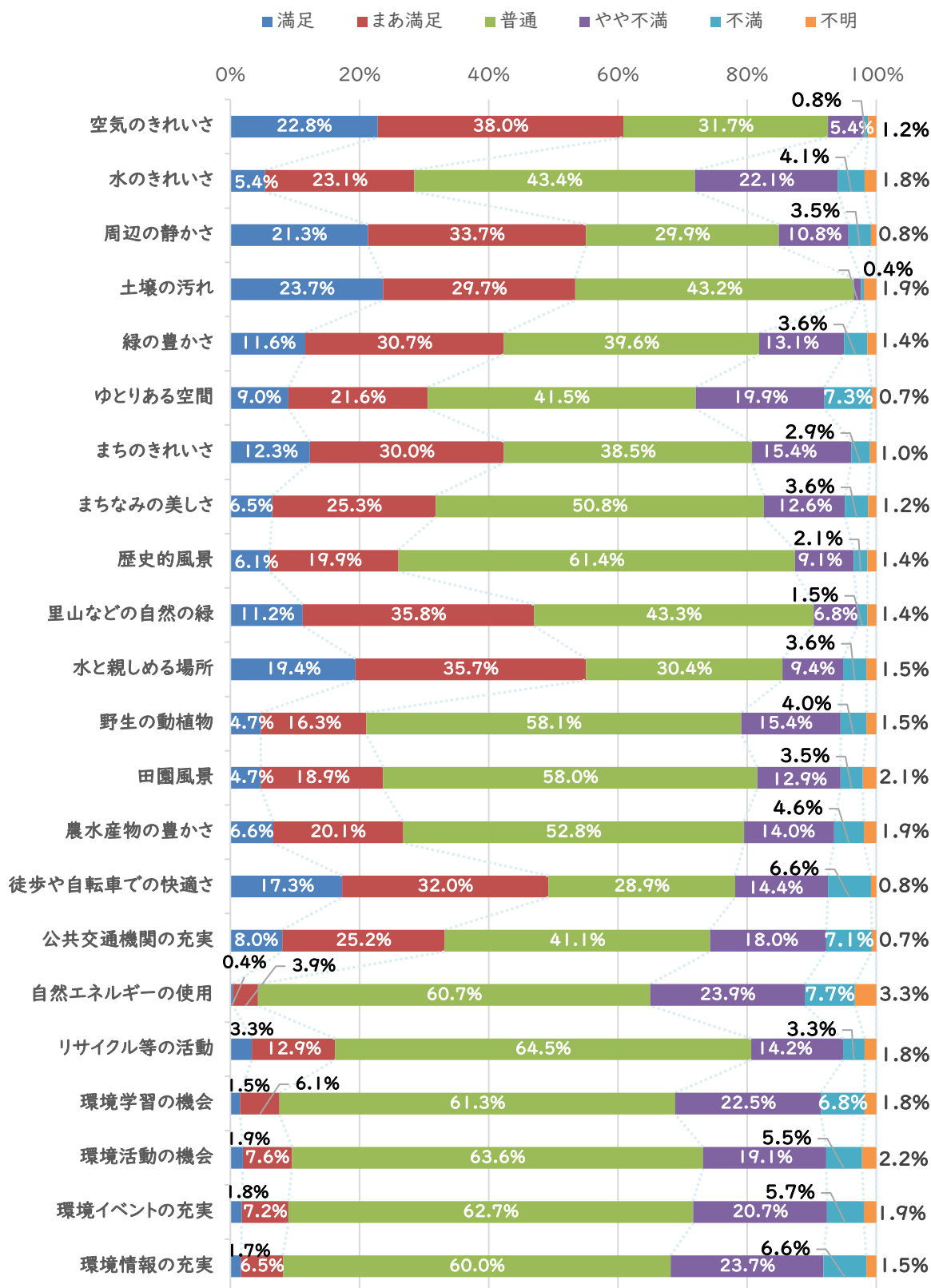
【B】茅ヶ崎市の環境に関する各項目の重要性について、日頃どのように感じています。

あてはまる番号 1～5の中から1つだけ○で囲んでください。

茅ヶ崎市の環境について、日頃感じていることを聞いたところ、『満足(計)』では、「空気のきれいさ(60.9%)」、「周辺の静かさ(55.0%)」、「水と親しめる場所(55.0%)」が比較的高く、『不満(計)』では「自然エネルギーの使用(31.7%)」、「環境情報の充実(30.3%)」、「環境学習の機会(29.3%)」が高くなっています。また、『重要(計)』は、「まちのきれいさ(80.6%)」、「空気のきれいさ(74.6%)」、「水のきれいさ(73.3%)」が特に割合が高くなっています。

前回の調査と比べると、『満足(計)』については、22のすべての項目で割合が増加しており、「空気のきれいさ」では16.4ポイント、「水と親しめる場所」では15.1ポイントと特に増加しています。また、『不満(計)』についても、21項目で割合が減少していますが、「環境情報の充実」は、0.5ポイント割合が増加しています。また、『重要(計)』で、前回より増加の割合が大きいのは「農水産物の豊かさ」で12.2ポイント、次に「自然エネルギーの使用」で8.6ポイントとなっています。

【A】日頃感じる満足度



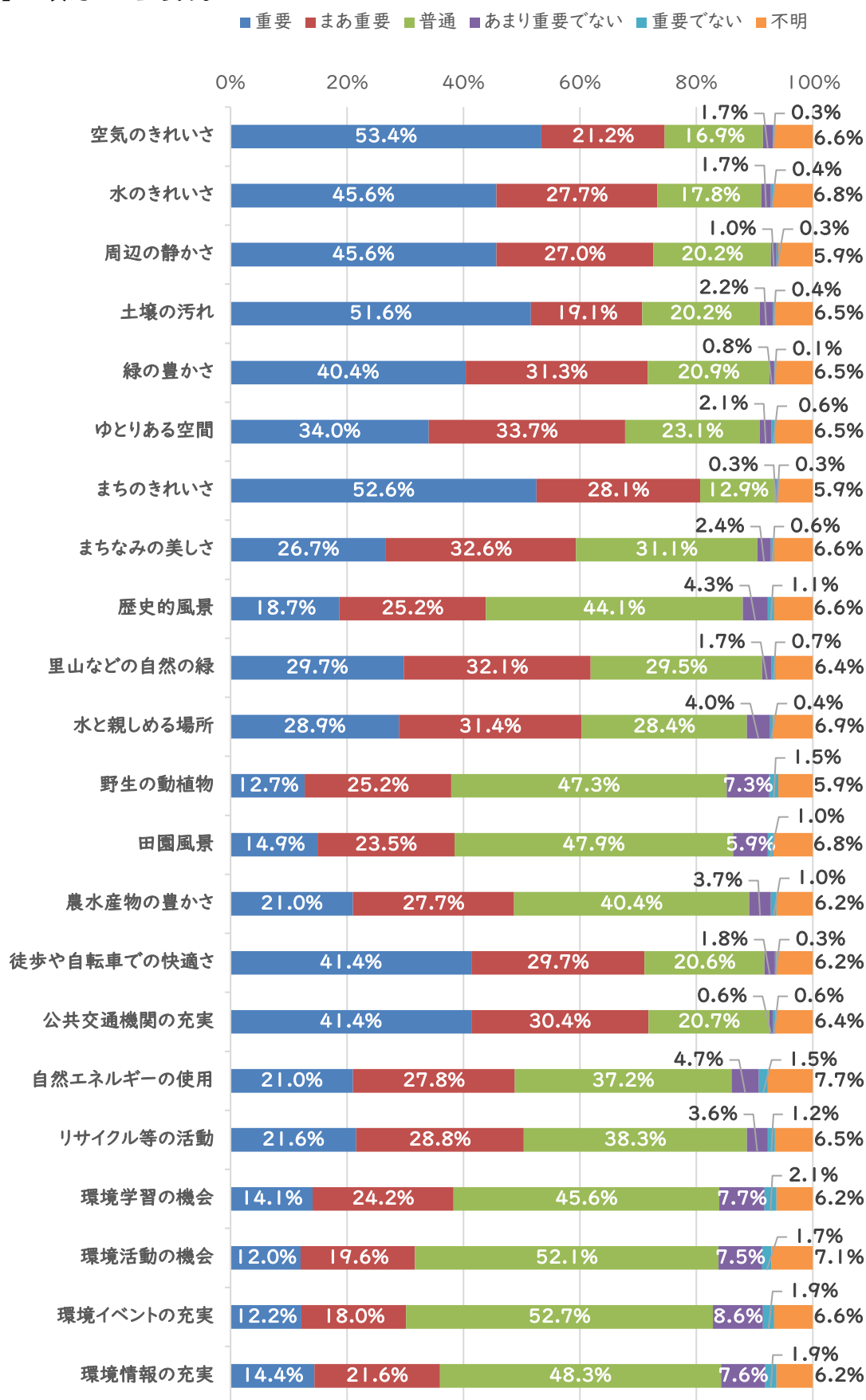
(n723)

【前回調査との比較/日頃感じる満足度】

	調査年度	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	不明		満足 (計)	不満 (計)
空気の きれいさ	令和5年度	22.8%	38.0%	31.7%	5.4%	0.8%	1.2%		60.9%	6.2%
	令和元年度	14.3%	30.3%	40.6%	8.3%	1.9%	4.7%		44.5%	10.2%
水のきれいさ	令和5年度	5.4%	23.1%	43.4%	22.1%	4.1%	1.8%		28.5%	26.3%
	令和元年度	2.9%	14.0%	41.3%	28.2%	8.6%	4.9%		16.9%	36.8%
周辺の静かさ	令和5年度	21.3%	33.7%	29.9%	10.8%	3.5%	0.8%		55.0%	14.2%
	令和元年度	18.8%	28.4%	31.1%	11.8%	5.8%	4.1%		47.2%	17.6%
土壌の汚れ	令和5年度	23.7%	29.7%	43.2%	1.1%	0.4%	1.9%		53.4%	1.5%
	令和元年度	18.0%	23.3%	48.6%	3.2%	1.3%	5.5%		41.3%	4.5%
緑の豊かさ	令和5年度	11.6%	30.7%	39.6%	13.1%	3.6%	1.4%		42.3%	16.7%
	令和元年度	10.2%	25.6%	39.6%	15.1%	4.5%	4.9%		35.8%	19.7%
ゆとりある 空間	令和5年度	9.0%	21.6%	41.5%	19.9%	7.3%	0.7%		30.6%	27.2%
	令和元年度	6.3%	17.2%	41.0%	22.0%	8.7%	4.8%		23.4%	30.7%
まちの きれいさ	令和5年度	12.3%	30.0%	38.5%	15.4%	2.9%	1.0%		42.3%	18.3%
	令和元年度	7.0%	27.2%	40.6%	18.2%	2.8%	4.2%		34.2%	21.0%
まちなみの 美しさ	令和5年度	6.5%	25.3%	50.8%	12.6%	3.6%	1.2%		31.8%	16.2%
	令和元年度	3.2%	14.4%	58.2%	16.2%	3.6%	4.4%		17.6%	19.8%
歴史的風景	令和5年度	6.1%	19.9%	61.4%	9.1%	2.1%	1.4%		26.0%	11.2%
	令和元年度	3.5%	13.8%	63.0%	12.7%	1.5%	5.5%		17.3%	14.1%
里山などの 自然の緑	令和5年度	11.2%	35.8%	43.3%	6.8%	1.5%	1.4%		47.0%	8.3%
	令和元年度	7.4%	27.9%	49.9%	7.9%	1.0%	5.8%		35.4%	8.9%
水と親しめる 場所	令和5年度	19.4%	35.7%	30.4%	9.4%	3.6%	1.5%		55.0%	13.0%
	令和元年度	12.7%	27.2%	40.5%	12.2%	2.5%	4.9%		39.9%	14.7%
野生の 動植物	令和5年度	4.7%	16.3%	58.1%	15.4%	4.0%	1.5%		21.0%	19.4%
	令和元年度	4.4%	11.9%	53.6%	21.8%	3.2%	5.1%		16.3%	25.0%
田園風景	令和5年度	4.7%	18.9%	58.0%	12.9%	3.5%	2.1%		23.7%	16.3%
	令和元年度	3.3%	15.3%	56.5%	17.0%	2.3%	5.5%		18.6%	19.4%
農水産物の 豊かさ	令和5年度	6.6%	20.1%	52.8%	14.0%	4.6%	1.9%		26.7%	18.5%
	令和元年度	3.3%	16.9%	54.4%	17.5%	2.3%	5.5%		20.2%	19.8%
徒歩や自転車 での快適さ	令和5年度	17.3%	32.0%	28.9%	14.4%	6.6%	0.8%		49.2%	21.0%
	令和元年度	10.2%	25.5%	29.5%	21.1%	8.6%	5.1%		35.7%	29.7%
公共交通機関 の充実	令和5年度	8.0%	25.2%	41.1%	18.0%	7.1%	0.7%		33.2%	25.0%
	令和元年度	6.4%	18.5%	41.3%	21.8%	7.0%	4.9%		24.9%	28.8%
自然エネルギー の使用	令和5年度	0.4%	3.9%	60.7%	23.9%	7.7%	3.3%		4.3%	31.7%
	令和元年度	0.4%	2.5%	52.7%	29.4%	6.7%	8.3%		2.9%	36.1%
リサイクル等の 活動	令和5年度	3.3%	12.9%	64.5%	14.2%	3.3%	1.8%		16.2%	17.6%
	令和元年度	1.5%	10.0%	63.9%	15.7%	3.8%	5.1%		11.5%	19.5%
環境学習の 機会	令和5年度	1.5%	6.1%	61.3%	22.5%	6.8%	1.8%		7.6%	29.3%
	令和元年度	0.9%	4.1%	57.4%	25.6%	6.4%	5.7%		4.9%	32.0%
環境活動の 機会	令和5年度	1.9%	7.6%	63.6%	19.1%	5.5%	2.2%		9.5%	24.6%
	令和元年度	1.5%	4.9%	62.2%	19.5%	5.2%	6.7%		6.4%	24.7%
環境イベントの 充実	令和5年度	1.8%	7.2%	62.7%	20.7%	5.7%	1.9%		9.0%	26.4%
	令和元年度	1.2%	4.4%	60.1%	23.1%	5.1%	6.1%		5.5%	28.2%
環境情報の 充実	令和5年度	1.7%	6.5%	60.0%	23.7%	6.6%	1.5%		8.2%	30.3%
	令和元年度	1.3%	4.7%	58.7%	24.3%	5.5%	5.5%		6.0%	29.8%

満足(計):「満足」「まあ満足」の合計,不満(計):「やや不満」「不満」の合計

【B】日頃感じる重要度



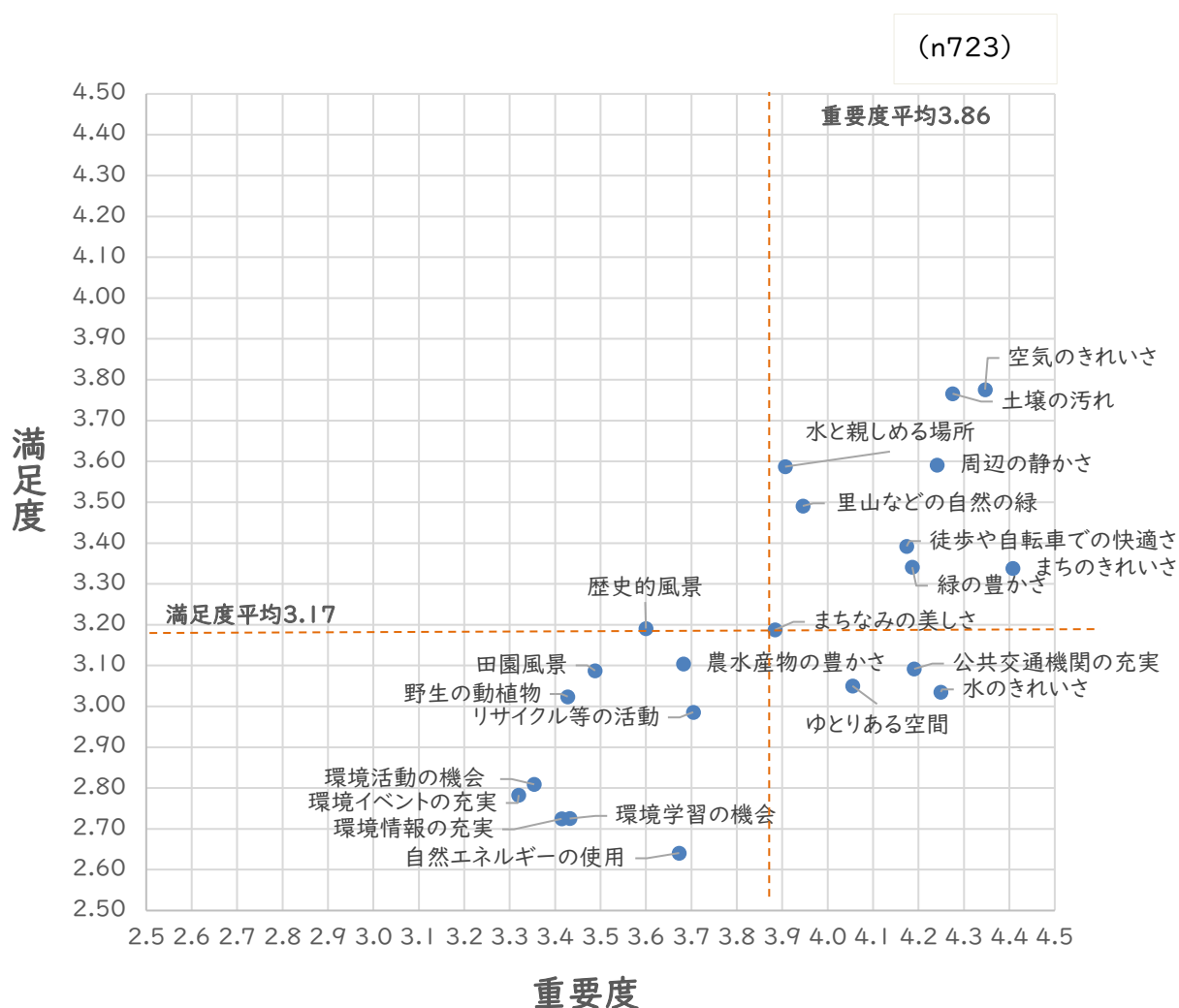
【前回調査との比較/日頃感じる重要度】

	調査年度	重要	まあ重要	普通	あまり重要でない	重要でない	不明		重要(計)	重要でない(計)
空気のきれいさ	令和5年度	53.4%	21.2%	16.9%	1.7%	0.3%	6.6%		74.6%	1.9%
	令和元年度	44.3%	23.4%	18.8%	1.7%	0.6%	11.2%		67.7%	2.3%
水のきれいさ	令和5年度	45.6%	27.7%	17.8%	1.7%	0.4%	6.8%		73.3%	2.1%
	令和元年度	43.5%	28.8%	14.7%	1.9%	0.4%	10.6%		72.3%	2.3%
周辺の静かさ	令和5年度	45.6%	27.0%	20.2%	1.0%	0.3%	5.9%		72.6%	1.2%
	令和元年度	39.4%	31.1%	15.9%	1.6%	0.7%	11.2%		70.6%	2.3%
土壌の汚れ	令和5年度	51.6%	19.1%	20.2%	2.2%	0.4%	6.5%		70.7%	2.6%
	令和元年度	41.8%	24.2%	19.9%	1.9%	0.7%	11.5%		65.9%	2.6%
緑の豊かさ	令和5年度	40.4%	31.3%	20.9%	0.8%	0.1%	6.5%		71.6%	1.0%
	令和元年度	33.2%	33.9%	19.7%	1.9%	0.4%	10.9%		67.1%	2.3%
ゆとりある空間	令和5年度	34.0%	33.7%	23.1%	2.1%	0.6%	6.5%		67.8%	2.6%
	令和元年度	28.2%	34.9%	22.9%	2.0%	0.1%	11.8%		63.2%	2.2%
まちのきれいさ	令和5年度	52.6%	28.1%	12.9%	0.3%	0.3%	5.9%		80.6%	0.6%
	令和元年度	42.9%	30.4%	14.7%	0.9%	0.3%	10.8%		73.4%	1.2%
まちなみの 美しさ	令和5年度	26.7%	32.6%	31.1%	2.4%	0.6%	6.6%		59.3%	2.9%
	令和元年度	22.7%	34.4%	29.4%	1.7%	0.3%	11.5%		57.1%	2.0%
歴史的風景	令和5年度	18.7%	25.2%	44.1%	4.3%	1.1%	6.6%		43.8%	5.4%
	令和元年度	14.6%	26.6%	41.3%	4.5%	1.0%	11.9%		41.2%	5.5%
里山などの 自然の緑	令和5年度	29.7%	32.1%	29.5%	1.7%	0.7%	6.4%		61.8%	2.4%
	令和元年度	25.0%	30.6%	30.6%	1.7%	0.4%	11.6%		55.6%	2.2%
水と親しめる 場所	令和5年度	28.9%	31.4%	28.4%	4.0%	0.4%	6.9%		60.3%	4.4%
	令和元年度	23.6%	33.6%	27.1%	3.8%	0.3%	11.6%		57.2%	4.1%
野生の動植物	令和5年度	12.7%	25.2%	47.3%	7.3%	1.5%	5.9%		37.9%	8.9%
	令和元年度	11.5%	26.8%	42.2%	6.4%	1.5%	11.6%		38.3%	7.9%
田園風景	令和5年度	14.9%	23.5%	47.9%	5.9%	1.0%	6.8%		38.5%	6.9%
	令和元年度	13.0%	23.6%	45.1%	5.1%	1.3%	11.9%		36.5%	6.4%
農水産物の 豊かさ	令和5年度	21.0%	27.7%	40.4%	3.7%	1.0%	6.2%		48.7%	4.7%
	令和元年度	14.8%	28.5%	40.8%	3.8%	0.6%	11.5%		36.5%	4.4%
徒歩や自転車 での快適さ	令和5年度	41.4%	29.7%	20.6%	1.8%	0.3%	6.2%		71.1%	2.1%
	令和元年度	37.3%	32.2%	17.6%	1.6%	0.3%	11.1%		69.4%	1.9%
公共交通機関 の充実	令和5年度	41.4%	30.4%	20.7%	0.6%	0.6%	6.4%		71.8%	1.1%
	令和元年度	34.2%	31.7%	21.1%	1.2%	0.7%	11.1%		65.9%	1.9%
自然エネルギー の使用	令和5年度	21.0%	27.8%	37.2%	4.7%	1.5%	7.7%		48.8%	6.2%
	令和元年度	16.9%	23.3%	42.4%	3.9%	0.6%	13.0%		40.2%	4.5%
リサイクル等の 活動	令和5年度	21.6%	28.8%	38.3%	3.6%	1.2%	6.5%		50.3%	4.8%
	令和元年度	19.2%	26.9%	38.1%	3.2%	0.7%	11.8%		46.1%	3.9%
環境学習の 機会	令和5年度	14.1%	24.2%	45.6%	7.7%	2.1%	6.2%		38.3%	9.8%
	令和元年度	12.8%	20.7%	47.0%	6.0%	1.7%	11.8%		33.5%	7.7%
環境活動の 機会	令和5年度	12.0%	19.6%	52.1%	7.5%	1.7%	7.1%		31.7%	9.1%
	令和元年度	9.6%	19.4%	49.8%	6.7%	2.2%	12.4%		29.0%	8.9%
環境イベントの 充実	令和5年度	12.2%	18.0%	52.7%	8.6%	1.9%	6.6%		30.2%	10.5%
	令和元年度	9.3%	19.5%	48.5%	8.0%	2.3%	12.4%		28.8%	10.3%
環境情報の 充実	令和5年度	14.4%	21.6%	48.3%	7.6%	1.9%	6.2%		36.0%	9.5%
	令和元年度	11.2%	19.8%	48.3%	7.1%	1.3%	12.2%		31.0%	8.4%

重要(計):「重要」「まあ重要」の合計,重要でない(計):「あまり重要でない」「重要でない」の合計

【満足度・重要度の関係】

満足度と重要度の関係をみると回答者が重要と感じているが満足度が平均より低い項目は、満足度の低い順に「水のきれいさ」「ゆとりある空間」「公共機関の充実」の3項目となっています。回答者が重要と感じかつ満足度も平均より高い項目は、満足度の高い順に「空気のきれいさ」「土壌の汚れ」「周辺の静かさ」「水と親しめる場所」「里山などの自然の緑」「徒歩や自転車での快適さ」「緑の豊かさ」「まちのきれいさ」「まちなみの美しさ」となっています。回答者の重要度が平均より低く、かつ満足度も平均より低い項目は、重要度の低い順に「環境イベントの充実」「環境活動の機会」「環境情報の充実」「野生の動植物」「環境学習の機会」「田園風景」「自然エネルギーの使用」「農水産物の豊かさ」「リサイクル等の活動」となっています。「歴史的風景」については、重要度は平均より低いものの、満足度は平均より高くなっています。

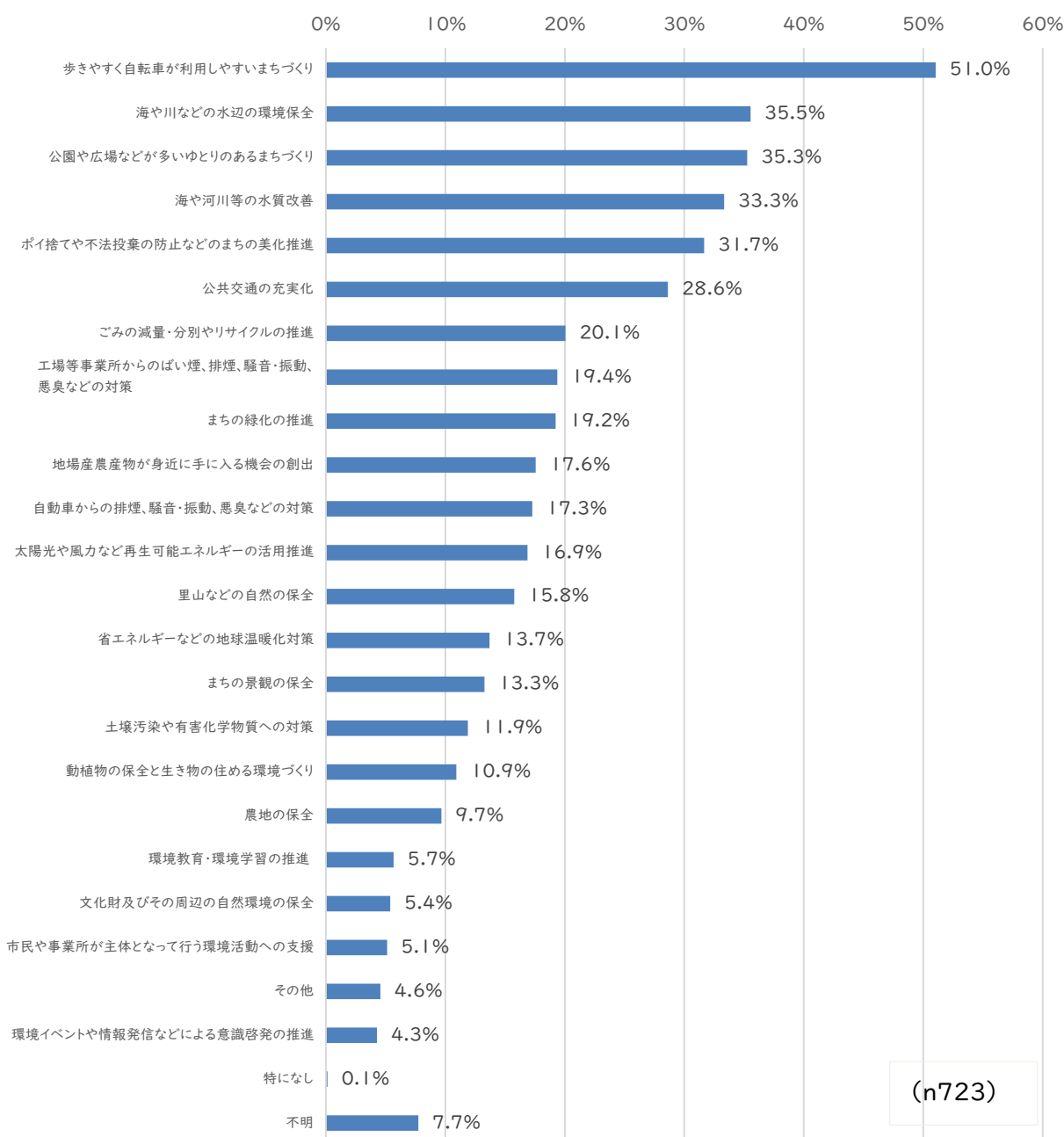


(2) 市が重点的に取り組むべき環境への対策

問9 茅ヶ崎市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への対策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

茅ヶ崎市が重点的に取り組むべき環境への対策を聞いたところ、「歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり(51.0%)」が最も高く、次いで、「海や川などの水辺の環境保全(35.5%)」、「公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり(35.3%)」となっています。

前回の調査と比べ増加の割合が高い順に、「太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用推進」で3.8ポイント、「地場産農産物が身近に手に入る機会の創出」2.9ポイント、「自動車からの排煙、騒音・振動、悪臭などの対策」2.6ポイントとなっています。



【前回調査との比較】

市が重点的に取り組むべき環境への対策	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	723	687
歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり	51.0%	55.6%
海や川などの水辺の環境保全	35.5%	42.2%
公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり	35.3%	32.9%
海や河川等の水質改善	33.3%	38.3%
ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進	31.7%	32.9%
公共交通の充実化	28.6%	34.6%
ごみの減量・分別やリサイクルの推進	20.1%	23.9%
工場等事業所からのばい煙、排煙、騒音・振動、悪臭などの対策	19.4%	21.1%
まちの緑化の推進	19.2%	19.2%
地場産農産物が身近に手に入る機会の創出	17.6%	14.7%
自動車からの排煙、騒音・振動、悪臭などの対策	17.3%	14.7%
太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用推進	16.9%	13.1%
里山などの自然の保全	15.8%	14.3%
省エネルギーなどの地球温暖化対策	13.7%	14.4%
まちの景観の保全	13.3%	11.8%
土壌汚染や有害化学物質への対策	11.9%	12.2%
動植物の保全と生き物の住める環境づくり	10.9%	10.6%
農地の保全	9.7%	7.9%
環境教育・環境学習の推進	5.7%	5.7%
文化財及びその周辺の自然環境の保全	5.4%	6.6%
市民や事業所が主体となっていく環境活動への支援	5.1%	4.7%
その他	4.6%	6.6%
環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進	4.3%	5.7%
特になし	0.1%	0.9%
不明	7.7%	5.7%

2-3 普段の環境活動について

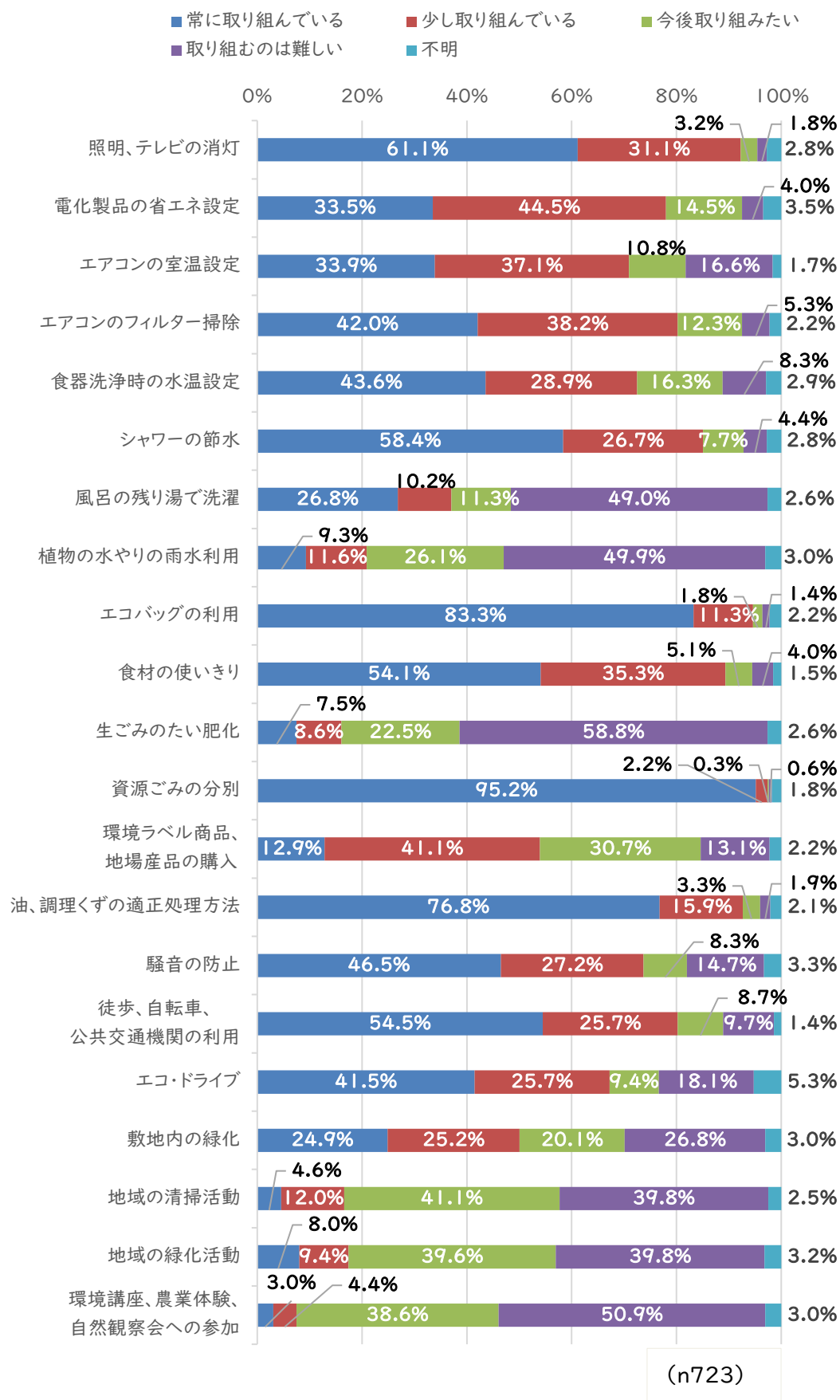
(1) 普段取り組んでいる環境活動

問 10 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4の中から 1 つだけ○で囲んでください。また、「取り組むのは難しい」と回答した箇所については、取り組むのは難しい理由として最もあてはまるものを、下欄から選び番号を記入してください。

環境について、普段取り組んでいることを聞いたところ、常に取り組んでいると回答した割合は、「資源ごみの分別(95.2%)」が最も高く、次いで、「エコバッグの利用(83.3%)」、「油、調理くずの適性処理方法(76.8%)」、「照明、テレビの消灯(61.1%)」となっています。「少し取り組んでいる」を含めた『取り組んでいる(計)』では、上記以外で、「食材の使いきり」、「シャワーの節水」、「エアコンのフィルター掃除」、「徒歩、自転車、公共交通機関の利用」が 8 割以上となっています。

一方、取り組むのは難しいと回答した割合は、「生ごみのたい肥化(58.8%)」が最も高く、次いで、「環境講座、農業体験、自然観察会への参加(50.9%)」、「植物の水やりの雨水利用(49.9%)」となっています。これらの取り組むのは難しい理由を聞いたところ、「生ごみのたい肥化」と「植物の水やりの雨水利用」については、「自分には該当しない」、「手間がかかる」が、「環境講座、農業体験、自然観察会への参加」については、「特に理由はない」、「自分には該当しない」が高い割合となっています。

【普段取り組んでいること】

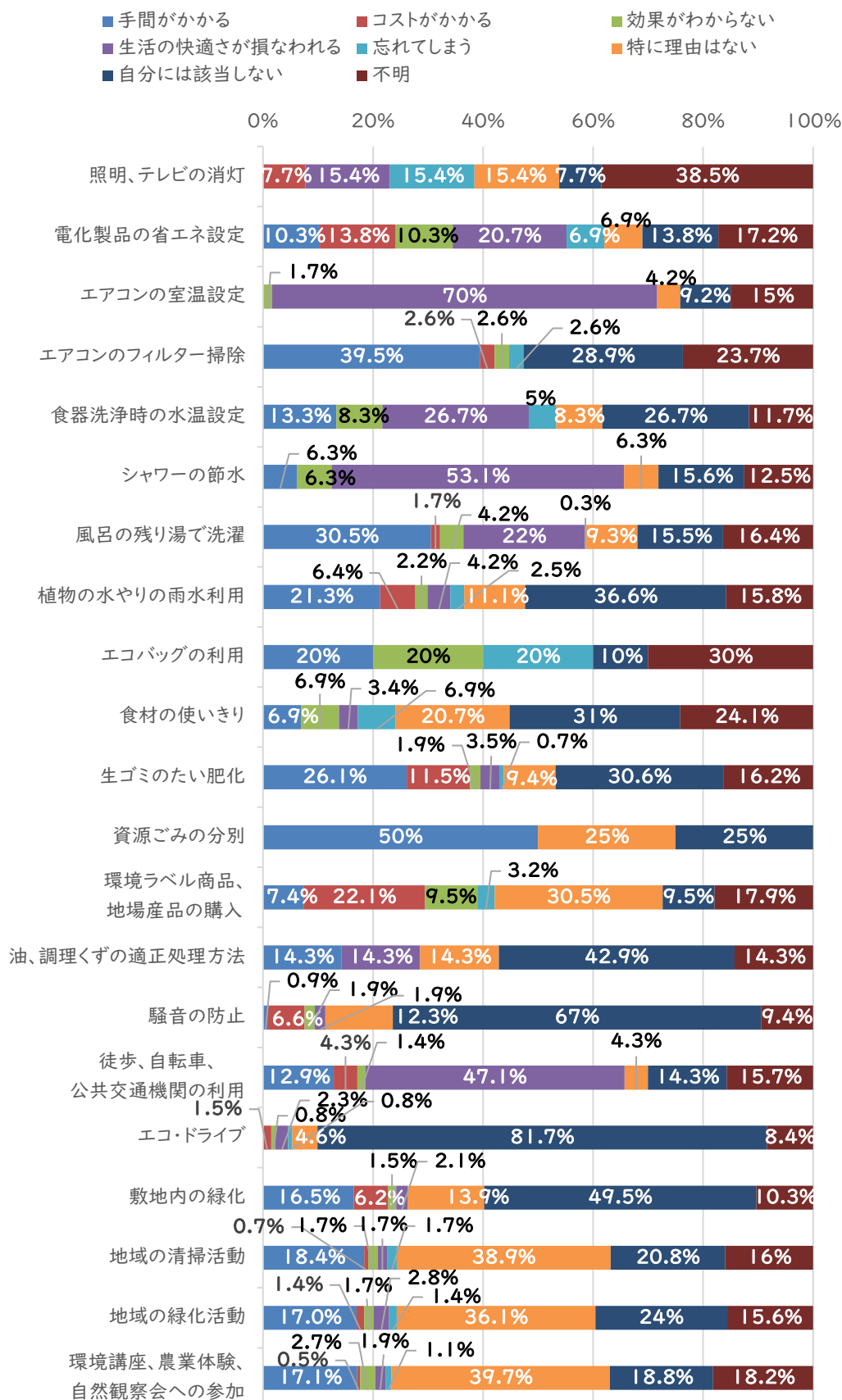


【前回調査との比較/普段取り組んでいること】

	調査年度	常に 取り組ん でいる	少し 取り組ん でいる	今後 取り組 みたい	取り組 むのは 難しい	不明	取り組 んでいる (計)
照明、テレビの消灯	令和5年度	61.1%	31.1%	3.2%	1.8%	2.8%	92.3%
	令和元年度	57.5%	29.1%	4.7%	0.7%	8.0%	86.6%
電化製品の 省エネ設定	令和5年度	33.5%	44.5%	14.5%	4.0%	3.5%	78.0%
	令和元年度	33.0%	40.5%	15.0%	2.3%	9.2%	73.5%
エアコンの室温設定	令和5年度	33.9%	37.1%	10.8%	16.6%	1.7%	71.0%
	令和元年度	33.9%	31.0%	14.3%	13.1%	7.7%	64.9%
エアコンのフィルター 掃除	令和5年度	42.0%	38.2%	12.3%	5.3%	2.2%	80.2%
	令和元年度	36.5%	34.9%	14.6%	6.3%	7.7%	71.5%
食器洗浄時の 水温設定	令和5年度	43.6%	28.9%	16.3%	8.3%	2.9%	72.5%
	令和元年度	44.8%	26.8%	14.3%	5.2%	8.9%	71.6%
シャワーの節水	令和5年度	58.4%	26.7%	7.7%	4.4%	2.8%	85.1%
	令和元年度	52.1%	26.3%	11.2%	2.3%	8.0%	78.5%
風呂の残り湯で 洗濯	令和5年度	26.8%	10.2%	11.3%	49.0%	2.6%	37.1%
	令和元年度	30.4%	10.6%	15.0%	35.1%	8.9%	41.0%
植物の水やりの 雨水利用	令和5年度	9.3%	11.6%	26.1%	49.9%	3.0%	20.9%
	令和元年度	9.2%	12.7%	30.7%	38.3%	9.2%	21.8%
エコバッグの利用	令和5年度	83.3%	11.3%	1.8%	1.4%	2.2%	94.6%
	令和元年度	53.3%	24.0%	10.8%	3.9%	8.0%	77.3%
食材の使いきり	令和5年度	54.1%	35.3%	5.1%	4.0%	1.5%	89.3%
	令和元年度	37.3%	39.7%	11.9%	3.5%	7.6%	77.0%
生ごみのたい肥化	令和5年度	7.5%	8.6%	22.5%	58.8%	2.6%	16.0%
	令和元年度	6.3%	5.1%	21.7%	57.9%	9.0%	11.4%
資源ごみの分別	令和5年度	95.2%	2.2%	0.3%	0.6%	1.8%	97.4%
	令和元年度	86.3%	4.9%	0.4%	0.9%	7.4%	91.3%
環境ラベル商品、 地場産品の購入	令和5年度	12.9%	41.1%	30.7%	13.1%	2.2%	53.9%
	令和元年度	14.3%	33.6%	30.7%	12.8%	8.6%	47.9%
油、調理くずの 適正処理方法	令和5年度	76.8%	15.9%	3.3%	1.9%	2.1%	92.7%
	令和元年度	69.7%	14.6%	5.7%	2.0%	8.0%	84.3%
騒音の防止	令和5年度	46.5%	27.2%	8.3%	14.7%	3.3%	73.7%
	令和元年度	41.5%	27.1%	6.4%	14.3%	10.8%	68.6%
徒歩、自転車、 公共交通機関の利用	令和5年度	54.5%	25.7%	8.7%	9.7%	1.4%	80.2%
	令和元年度	48.9%	27.9%	7.6%	8.2%	7.4%	76.9%
エコ・ドライブ	令和5年度	41.5%	25.7%	9.4%	18.1%	5.3%	67.2%
	令和元年度	39.2%	25.0%	8.6%	16.7%	10.5%	64.2%
敷地内の緑化	令和5年度	24.9%	25.2%	20.1%	26.8%	3.0%	50.1%
	令和元年度	26.3%	23.9%	19.7%	21.7%	8.4%	50.2%
地域の清掃活動	令和5年度	4.6%	12.0%	41.1%	39.8%	2.5%	16.6%
	令和元年度	5.1%	14.7%	38.0%	33.3%	8.9%	19.8%
地域の緑化活動	令和5年度	8.0%	9.4%	39.6%	39.8%	3.2%	17.4%
	令和元年度	8.2%	8.6%	40.9%	33.5%	8.9%	16.7%
環境講座、農業体験、 自然観察会への参加	令和5年度	3.0%	4.4%	38.6%	50.9%	3.0%	7.5%
	令和元年度	2.6%	3.9%	36.7%	47.0%	9.8%	6.6%

取り組んでいる(計):「常に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」の合計

【取り組むのは難しい理由】



(n723)

【前回調査との比較/取り組むのは難しい理由】

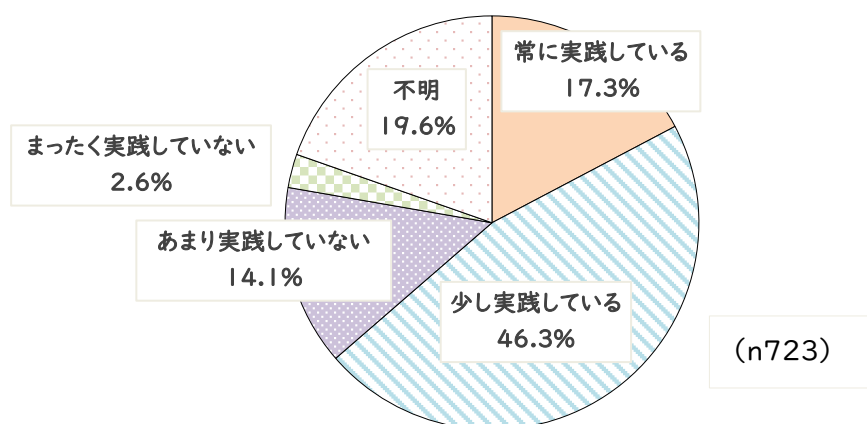
	調査年度	かかる手間がかかる	コストがかかる	効果がわからない	生活の快適さが損なわ	忘れてしまう	特に理由はない	自分には該当しない	不明
照明、テレビの消灯	令和5年度	0.0%	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	38.5%
	令和元年度	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
電化製品の省エネ設定	令和5年度	10.3%	13.8%	10.3%	20.7%	6.9%	6.9%	13.8%	17.2%
	令和元年度	18.8%	18.8%	18.8%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%
エアコンの室温設定	令和5年度	0.0%	0.0%	1.7%	70.0%	0.0%	4.2%	9.2%	15.0%
	令和元年度	2.2%	0.0%	5.6%	74.4%	1.1%	0.0%	6.7%	10.0%
エアコンのフィルター掃除	令和5年度	39.5%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	28.9%	23.7%
	令和元年度	44.2%	0.0%	0.0%	2.3%	11.6%	7.0%	18.6%	16.3%
食器洗浄時の水温設定	令和5年度	13.3%	0.0%	8.3%	26.7%	5.0%	8.3%	26.7%	11.7%
	令和元年度	8.3%	2.8%	19.4%	13.9%	5.6%	19.4%	30.6%	0.0%
シャワーの節水	令和5年度	6.3%	0.0%	6.3%	53.1%	0.0%	6.3%	15.6%	12.5%
	令和元年度	25.0%	0.0%	6.3%	25.0%	6.3%	12.5%	18.8%	6.3%
風呂の残り湯で洗濯	令和5年度	30.5%	1.7%	4.2%	22.0%	0.3%	9.3%	15.5%	16.4%
	令和元年度	31.5%	4.1%	6.2%	17.8%	0.8%	8.3%	15.8%	15.4%
植物の水やりの雨水利用	令和5年度	21.3%	6.4%	2.2%	4.2%	2.5%	11.1%	36.6%	15.8%
	令和元年度	23.2%	6.1%	1.5%	3.8%	1.9%	12.9%	38.4%	12.2%
エコバッグの利用	令和5年度	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	30.0%
	令和元年度	22.2%	0.0%	7.4%	14.8%	22.2%	14.8%	7.4%	11.1%
食材の使いいきり	令和5年度	6.9%	0.0%	6.9%	3.4%	6.9%	20.7%	31.0%	24.1%
	令和元年度	12.5%	8.3%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	33.3%	12.5%
生ごみのたい肥化	令和5年度	26.1%	11.5%	1.9%	3.5%	0.7%	9.4%	30.6%	16.2%
	令和元年度	25.1%	8.3%	1.3%	5.0%	1.3%	10.1%	34.4%	14.6%
資源ごみの分別	令和5年度	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	令和元年度	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
環境ラベル商品、地場産品の購入	令和5年度	7.4%	22.1%	9.5%	0.0%	3.2%	30.5%	9.5%	17.9%
	令和元年度	8.0%	17.0%	12.5%	3.4%	17.0%	20.5%	8.0%	13.6%
油、調理くずの適正処理方法	令和5年度	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%
	令和元年度	21.4%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	7.1%
騒音の防止	令和5年度	0.9%	6.6%	1.9%	1.9%	0.0%	12.3%	67.0%	9.4%
	令和元年度	0.0%	7.1%	0.0%	3.1%	2.0%	10.3%	65.3%	12.2%
徒歩、自転車、公共交通機関の利用	令和5年度	12.9%	4.3%	1.4%	47.1%	0.0%	4.3%	14.3%	15.7%
	令和元年度	10.7%	2.0%	1.8%	42.9%	0.0%	7.1%	16.1%	21.4%
エコドライブ	令和5年度	0.0%	1.5%	0.8%	2.3%	0.8%	4.6%	81.7%	8.4%
	令和元年度	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	7.0%	82.6%	7.0%
敷地内の緑化	令和5年度	16.5%	6.2%	1.5%	2.1%	0.0%	13.9%	49.5%	10.3%
	令和元年度	15.4%	3.4%	1.3%	4.7%	0.7%	16.8%	45.6%	12.1%
地域の清掃活動	令和5年度	18.4%	0.7%	1.7%	1.7%	1.7%	38.9%	20.8%	16.0%
	令和元年度	17.5%	0.0%	1.7%	1.7%	3.1%	41.5%	20.5%	14.0%
地域の緑化活動	令和5年度	17.0%	1.4%	1.7%	2.8%	1.4%	36.1%	24.0%	15.6%
	令和元年度	18.7%	0.4%	0.9%	2.2%	2.2%	39.1%	22.6%	13.9%
環境講座、農業体験、自然観察会への参加	令和5年度	17.1%	0.5%	2.7%	1.9%	1.1%	39.7%	18.8%	18.2%
	令和元年度	14.2%	0.3%	2.5%	1.9%	2.2%	44.3%	19.8%	14.9%

2-4 地球温暖化対策について

(1) 家庭内で実践している取り組み

問11 あなたは、家庭内で省エネルギーなど地球温暖化防止への取り組みを実践していますか。
あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

家庭内での地球温暖化防止への取り組み状況を聞いたところ、「常に実践している」が17.3%、「少し実践している」が46.3%となっており、半数以上が何からの取り組みを実践していました。



【前回調査との比較】

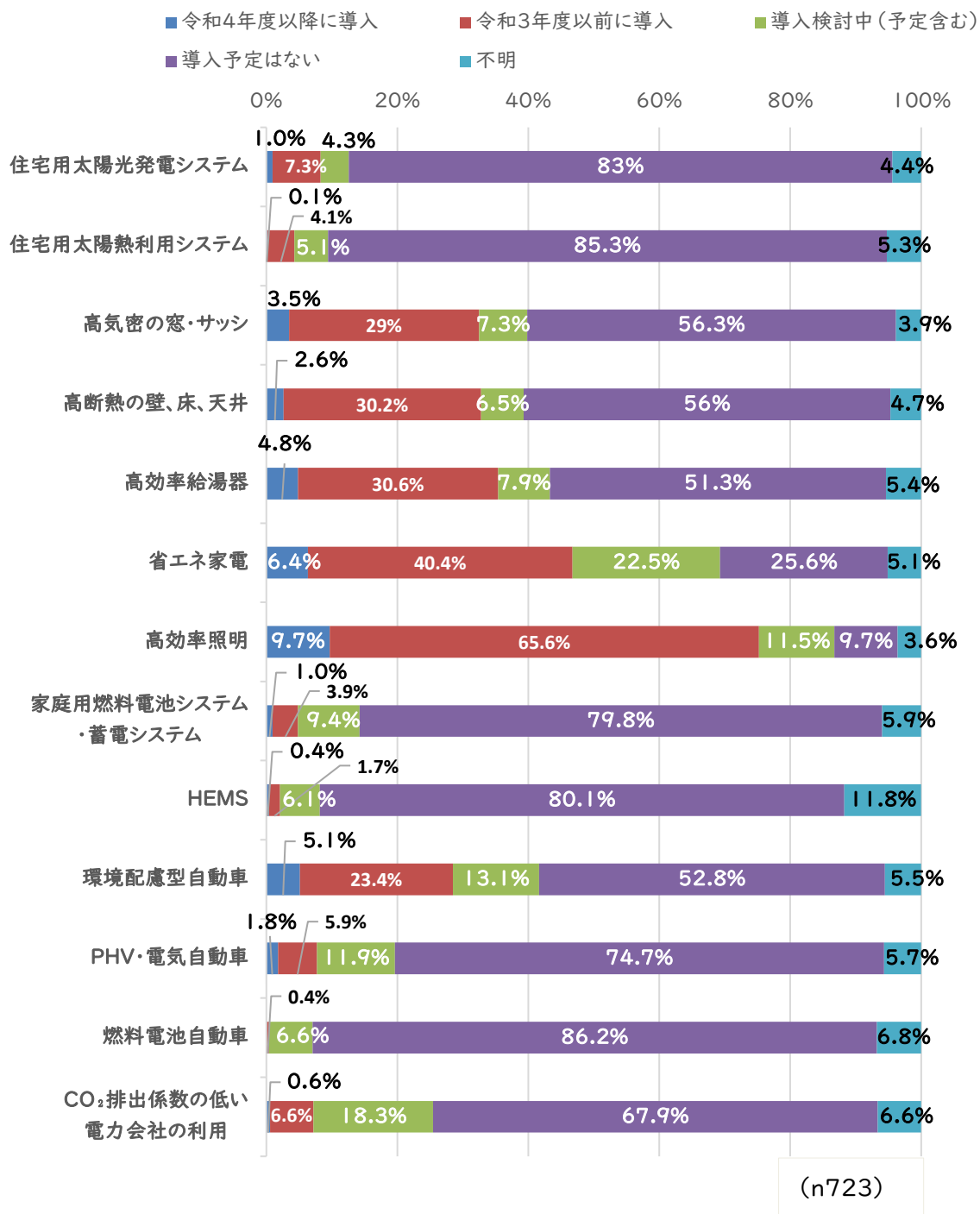
家庭内で実践している 取り組み	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	723	687
常に実践している	17.3%	12.7%
少し実践している	46.3%	48.9%
あまり実践していない	14.1%	15.0%
まったく実践していない	2.6%	1.7%
不明	19.6%	21.7%

(2) 温暖化対策機器・設備の導入状況

問12 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

また、「導入予定はない」と回答した箇所については、その理由として最もあてはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済(計)』と回答した割合は、「高効率照明(75.2%)」が最も高く、次いで「省エネ家電(46.7%)」となっています。



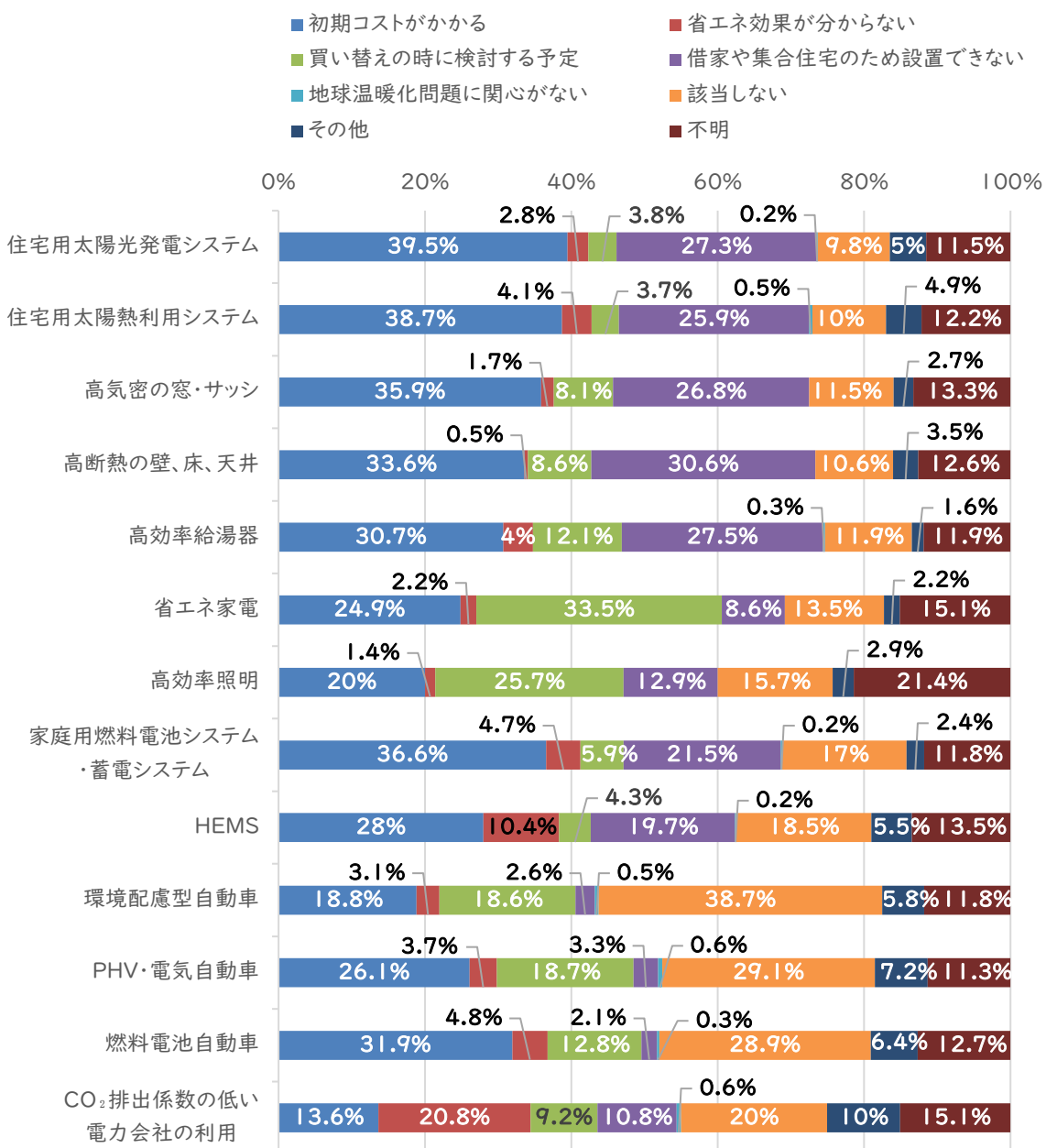
【前回調査との比較/温暖化対策機器・設備の導入状況】

	調査年度	調査前年度 に導入	調査前々年度 以前に導入	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ない	不明	導入済 (計)
住宅用太陽光 発電システム	令和5年度	1.0%	7.3%	4.3%	83.0%	4.4%	8.3%
	令和元年度	0.6%	5.5%	4.1%	82.2%	7.6%	6.1%
住宅用太陽熱 利用システム	令和5年度	0.1%	4.1%	5.1%	85.3%	5.3%	4.3%
	令和元年度	0.1%	2.9%	3.3%	85.4%	8.2%	3.1%
高気密の 窓・サッシ	令和5年度	3.5%	29.0%	7.3%	56.3%	3.9%	32.5%
	令和元年度	2.8%	25.8%	7.9%	56.3%	7.3%	28.5%
高断熱の 壁、床、天井	令和5年度	2.6%	30.2%	6.5%	56.0%	4.7%	32.8%
	令和元年度	2.8%	32.6%	5.4%	50.8%	8.4%	35.4%
高効率給湯器	令和5年度	4.8%	30.6%	7.9%	51.3%	5.4%	35.4%
	令和元年度	3.2%	25.8%	9.2%	52.8%	9.0%	29.0%
省エネ家電	令和5年度	6.4%	40.4%	22.5%	25.6%	5.1%	46.7%
	令和元年度	5.5%	41.8%	24.0%	18.6%	10.0%	47.3%
高効率照明	令和5年度	9.7%	65.6%	11.5%	9.7%	3.6%	75.2%
	令和元年度	8.2%	54.3%	20.7%	9.9%	7.0%	62.4%
家庭用燃料電池シス テム・蓄電システム	令和5年度	1.0%	3.9%	9.4%	79.8%	5.9%	4.8%
	令和元年度	1.0%	4.4%	7.6%	77.6%	9.5%	5.4%
HEMS	令和5年度	0.4%	1.7%	6.1%	80.1%	11.8%	2.1%
	令和元年度	0.1%	1.5%	4.1%	78.6%	15.7%	1.6%
環境配慮型 自動車	令和5年度	5.1%	23.4%	13.1%	52.8%	5.5%	28.5%
	令和元年度	7.1%	24.0%	14.6%	44.8%	9.5%	31.1%
PHV・電気自動車	令和5年度	1.8%	5.9%	11.9%	74.7%	5.7%	7.7%
	令和元年度	2.0%	4.5%	14.0%	69.4%	10.0%	6.6%
燃料電池自動車	令和5年度	0.0%	0.4%	6.6%	86.2%	6.8%	0.4%
	令和元年度	0.0%	0.1%	6.4%	83.4%	10.0%	0.1%
CO ₂ 排出係数の低い 電力会社の利用	令和5年度	0.6%	6.6%	18.3%	67.9%	6.6%	7.2%
	令和2年度	1.1%	3.9%	20.1%	68.1%	6.9%	5.0%

導入済(計):「調査前年度に導入」「調査前々年度以前に導入」の合計

【導入予定がない理由】

導入予定がない理由として、「初期コストがかかる」の割合が高かったのは、「住宅用太陽光発電システム」「住宅用太陽熱利用システム」「高密度の窓・サッシ」「高断熱の壁、床、天井」「高効率給湯器」「家庭用燃料電池システム・蓄電システム」「HEMS」「燃料電池自動車」で、28～39.5%を占めています。「買い替えのときに検討する予定」の割合が高かったのが、「省エネ家電（33.5%）」「高効率照明（25.7%）」です。「省エネ効果が分からない」の割合が高かったのは、「CO₂排出係数の低い電力会社の利用（20.8%）」でした。



(n723)

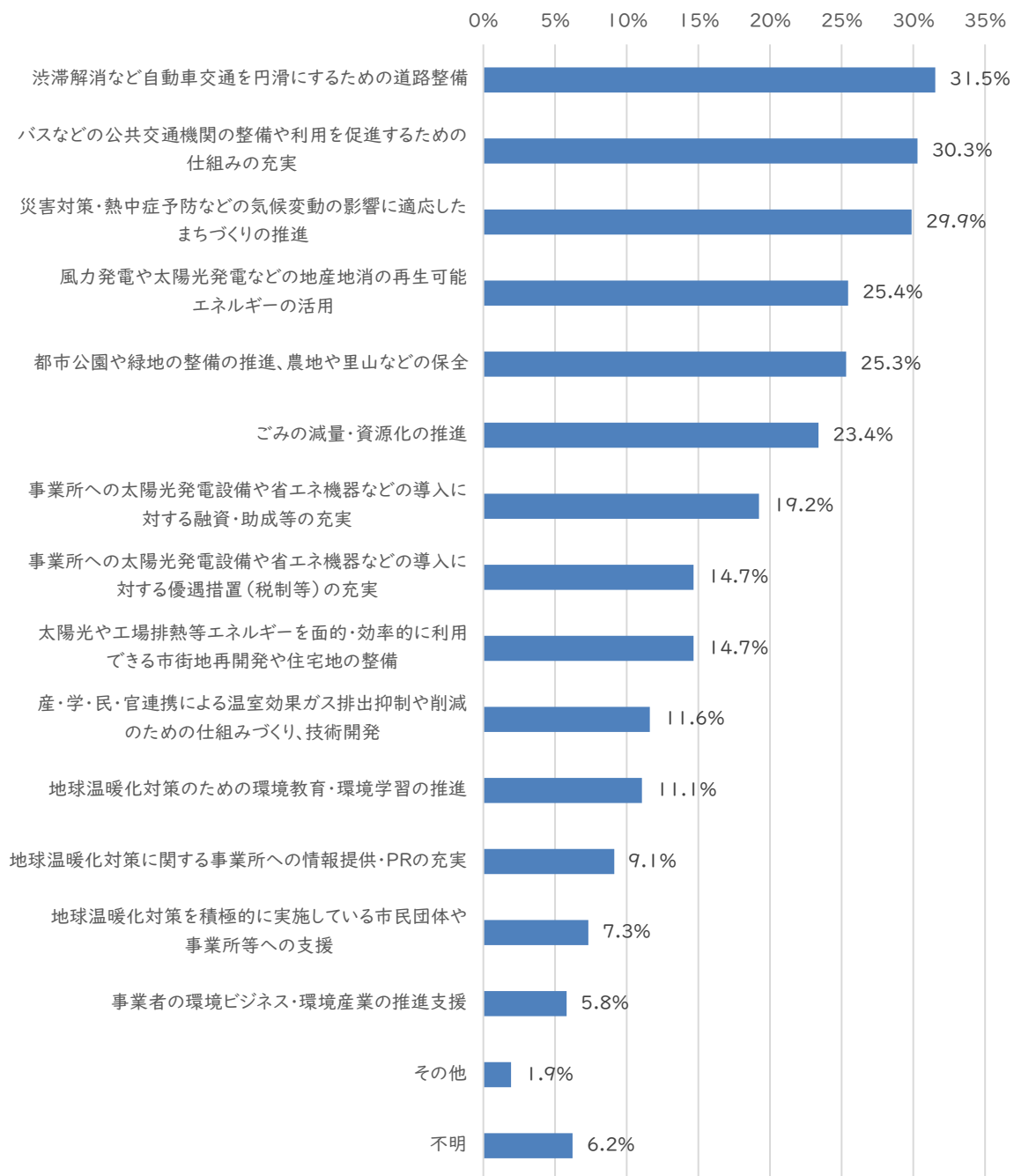
【前回調査との比較/導入予定がない理由】

	調査年度	初期コストがかかる	省エネ効果が分からない	買い替える時に検討する予定	借家や集合住宅のため設置できない	地球温暖化問題に関心がない	該当しない	その他	不明
住宅用太陽光発電システム	令和5年度	39.5%	2.8%	3.8%	27.3%	0.2%	9.8%	5.0%	11.5%
	令和元年度	43.4%	5.1%	5.1%	23.9%	0.5%	9.6%	5.8%	6.5%
住宅用太陽熱利用システム	令和5年度	38.7%	4.1%	3.7%	25.9%	0.5%	10.0%	4.9%	12.2%
	令和元年度	41.4%	6.0%	5.5%	23.2%	0.3%	10.7%	5.6%	7.3%
高気密の窓・サッシ	令和5年度	35.9%	1.7%	8.1%	26.8%	0.0%	11.5%	2.7%	13.3%
	令和元年度	33.9%	3.9%	10.1%	27.1%	0.5%	10.9%	5.4%	8.3%
高断熱の壁、床、天井	令和5年度	33.6%	0.5%	8.6%	30.6%	0.0%	10.6%	3.5%	12.6%
	令和元年度	29.8%	4.0%	8.9%	31.2%	0.6%	11.7%	6.3%	7.4%
高効率給湯器	令和5年度	30.7%	4.0%	12.1%	27.5%	0.3%	11.9%	1.6%	11.9%
	令和元年度	30.3%	3.9%	14.3%	26.2%	0.8%	12.4%	5.0%	7.2%
省エネ家電	令和5年度	24.9%	2.2%	33.5%	8.6%	0.0%	13.5%	2.2%	15.1%
	令和元年度	26.6%	4.7%	29.7%	9.4%	0.8%	14.1%	4.7%	10.2%
高効率照明	令和5年度	20.0%	1.4%	25.7%	12.9%	0.0%	15.7%	2.9%	21.4%
	令和元年度	22.1%	7.4%	35.3%	8.8%	0.0%	13.2%	4.4%	8.8%
家庭用燃料電池システム・蓄電システム	令和5年度	36.6%	4.7%	5.9%	21.5%	0.2%	17.0%	2.4%	11.8%
	令和元年度	42.6%	5.3%	6.4%	21.4%	0.4%	11.3%	5.1%	7.7%
HEMS	令和5年度	28.0%	10.4%	4.3%	19.7%	0.2%	18.5%	5.5%	13.5%
	令和元年度	35.6%	8.0%	6.5%	20.4%	0.6%	13.7%	6.7%	8.7%
環境配慮型自動車	令和5年度	18.8%	3.1%	18.6%	2.6%	0.5%	38.7%	5.8%	11.8%
	令和元年度	25.0%	0.6%	15.9%	1.0%	0.3%	38.6%	8.8%	9.7%
PHV・電気自動車	令和5年度	26.1%	3.7%	18.7%	3.3%	0.6%	29.1%	7.2%	11.3%
	令和元年度	28.7%	2.3%	18.9%	1.3%	0.4%	31.0%	9.2%	8.2%
燃料電池自動車	令和5年度	31.9%	4.8%	12.8%	2.1%	0.3%	28.9%	6.4%	12.7%
	令和元年度	32.6%	4.5%	14.5%	1.2%	0.3%	29.5%	8.2%	9.1%
CO ₂ 排出係数の低い電力会社の利用	令和5年度	13.6%	20.8%	9.2%	10.8%	0.6%	20.0%	10.0%	15.1%
	令和2年度	13.7%	21.0%	7.9%	11.3%	0.9%	21.3%	7.9%	16.0%

(3) 市が重点的に進めるべきだと思う施策

問 13 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策を聞いたところ、「渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備（31.5%）」が最も高く、次いで、「バスなどの公共交通機関の整備や利用を促進するための仕組みの充実（30.3%）」、「災害対策・熱中症予防などの気候変動の影響に適応したまちづくりの推進（29.9%）」となっています。



(n723)

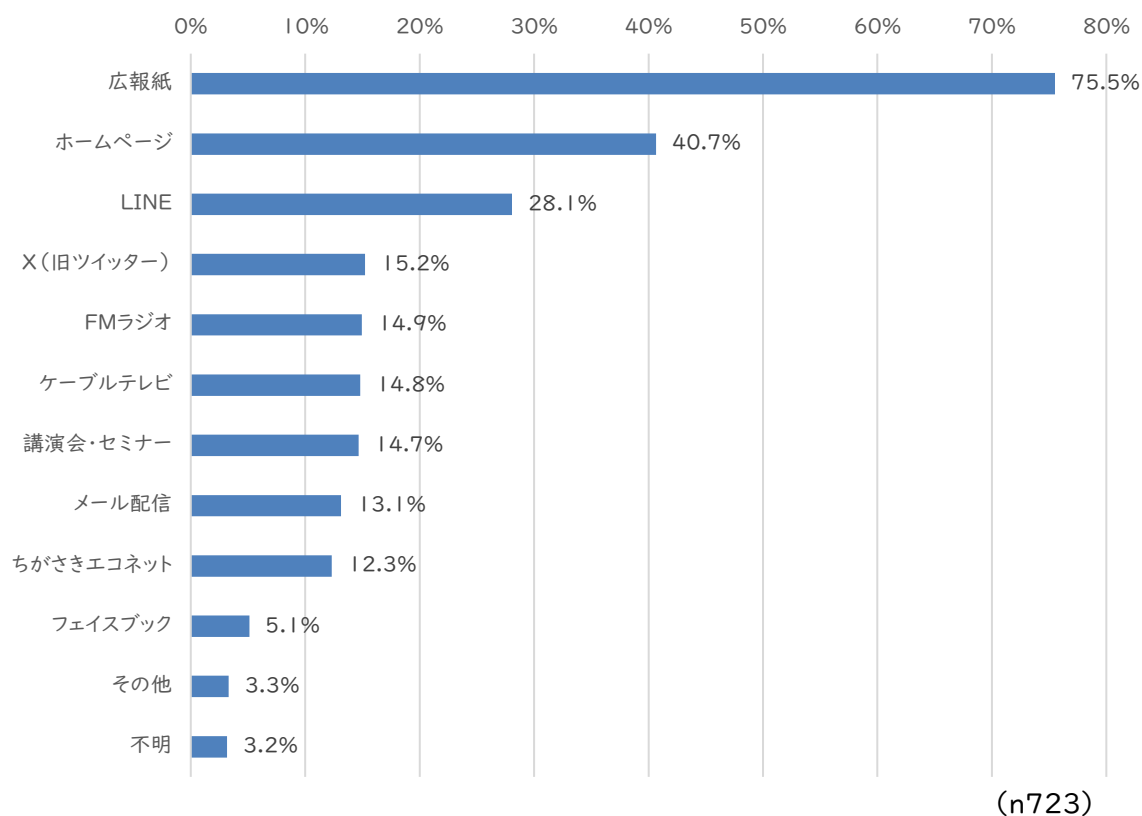
【前回調査との比較】

市が重点的に進めるべきだと思う施策	令和5年度	令和元年度 ※については 令和2年度 調査による
回答者数(n)	723	687 946※
渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備	31.5%	40.5%
バスなどの公共交通機関の整備や利用を促進するための 仕組みの充実	30.3%	42.6%
災害対策・熱中症予防などの気候変動の影響に適応した まちづくりの推進	29.9%	31.2%※
風力発電や太陽光発電などの地産地消の再生可能 エネルギーの活用	25.4%	25.5%
都市公園や緑地の整備の推進、農地や里山などの保全	25.3%	24.6%
ごみの減量・資源化の推進	23.4%	33.5%
事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に 対する融資・助成等の充実	19.2%	16.9%
事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に 対する優遇措置(税制等)の充実	14.7%	16.2%
太陽光や工場排熱等エネルギーを面的・効率的に利用 できる市街地再開発や住宅地の整備	14.7%	16.7%
産・学・民・官連携による温室効果ガス排出抑制や削減 のための仕組みづくり、技術開発	11.6%	13.0%
地球温暖化対策のための環境教育・環境学習の推進	11.1%	15.1%※
地球温暖化対策に関する事業所への情報提供・PRの充実	9.1%	9.5%
地球温暖化対策を積極的に実施している市民団体や 事業所等への支援	7.3%	8.3%
事業者の環境ビジネス・環境産業の推進支援	5.8%	4.8%※
その他	1.9%	1.0%
不明	6.2%	10.5%

(4) 市からの地球温暖化対策に関する知識や情報提供

問14 今後、地球温暖化対策に関する知識や情報について、市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市からの地球温暖化対策に関する情報提供について、どの媒体を希望するか聞いたところ、「広報紙」が75.5%と最も高く、次いで「ホームページ」40.7%、「LINE」28.1%という結果になりました。



【前回調査との比較】

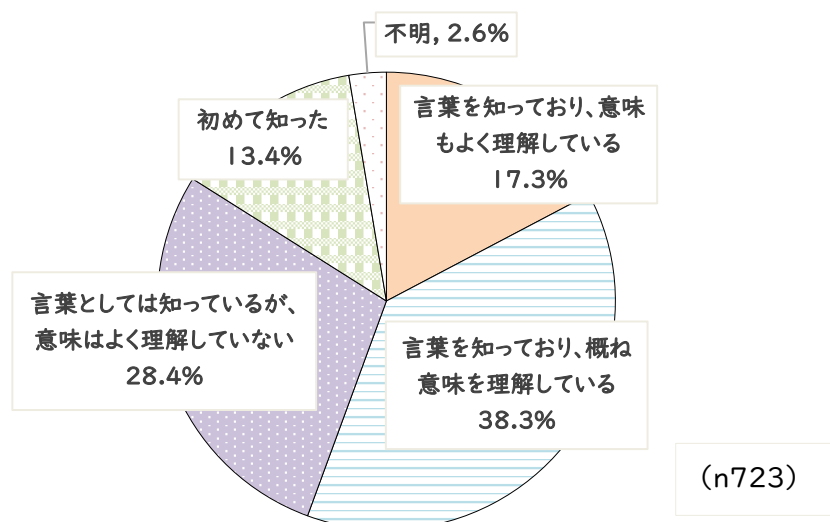
市からの地球温暖化対策に関する知識や情報提供	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
広報紙	75.5%	78.8%
ホームページ	40.7%	49.6%
LINE	28.1%	—
X(旧ツイッター)	15.2%	13.6%
FMラジオ	14.9%	13.5%
ケーブルテレビ	14.8%	17.3%
講演会・セミナー	14.7%	9.1%
メール配信	13.1%	18.4%
ちがさきエコネット	12.3%	16.7%
フェイスブック	5.1%	12.8%
その他	3.3%	3.5%
不明	3.2%	6.2%

2-5 気候変動への適応の取り組みについて

(1) 気候変動への適応の理解

問15 あなたは、気候変動への適応という言葉とその内容を知っていましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

気候変動への適応について聞いたところ、「言葉を知っており、意味もよく理解している(17.3%)」、「言葉を知っており、概ね意味を理解している(38.3%)」で、概ね意味まで理解している人は56%でした。



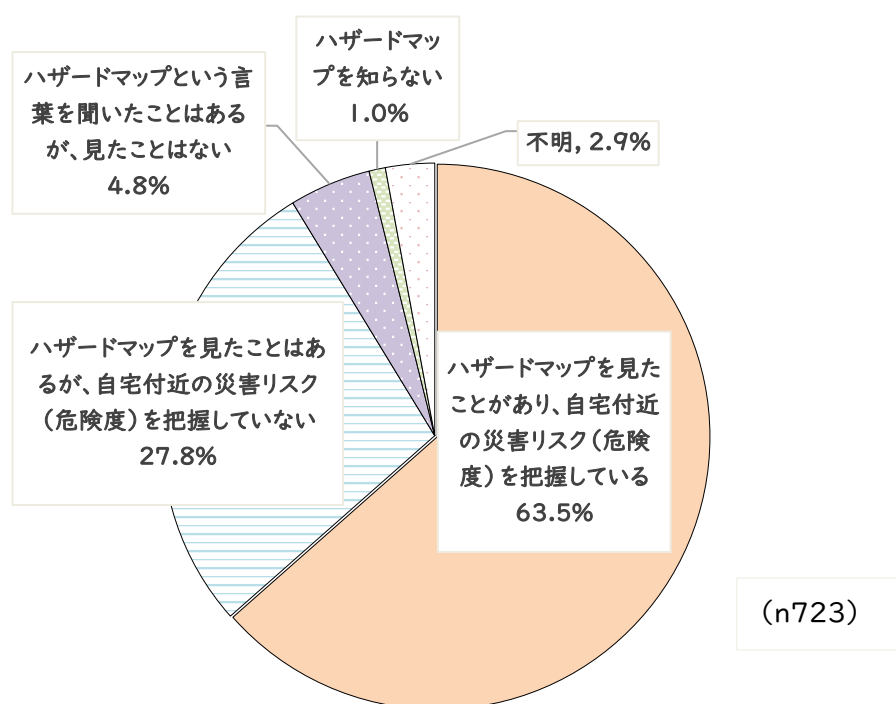
【前回調査との比較】

気候変動への適応の理解	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
言葉を知っており、意味もよく理解している	17.3%	15.8%
言葉を知っており、概ね意味を理解している	38.3%	36.0%
言葉としては知っているが、意味はよく理解していない	28.4%	24.8%
初めて知った	13.4%	18.9%
不明	2.6%	4.4%

(2) 日頃取り組んでいる気候変動への適応

問16 あなたは、自宅付近のハザードマップ(被害予測地図)を見たことがありますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

自宅付近のハザードマップ(被害予測地図)の確認状況を聞いたところ、「ハザードマップを見たことがあり、自宅付近の災害リスク(危険度)を把握している(63.5%)」、「ハザードマップを見たことはあるが、自宅付近の災害リスク(危険度)を把握していない(27.8%)」で、9割以上がハザードマップを見たことがありました。また、「ハザードマップを知らない」は1.0%という結果でした。



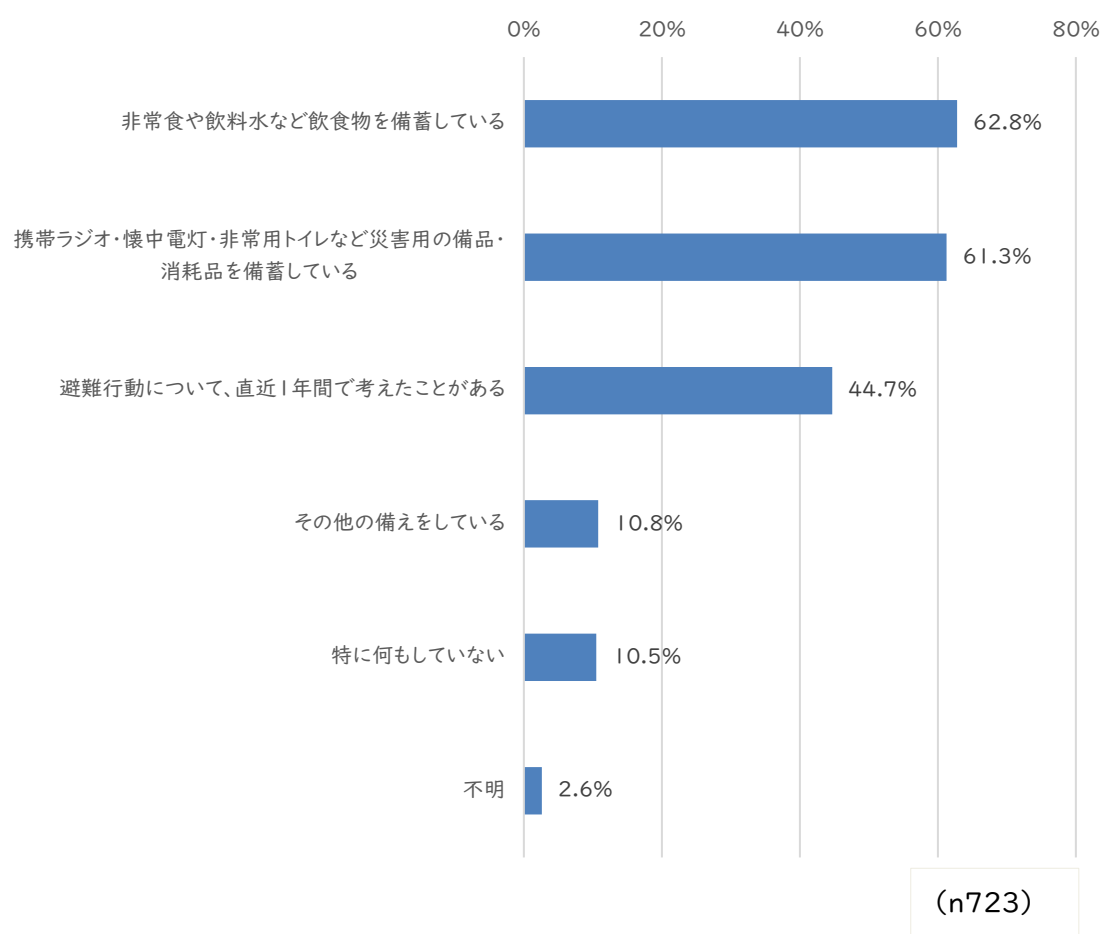
【前回調査との比較】

日頃取り組んでいる気候変動への適応	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
ハザードマップを見たことがあり、自宅付近の災害リスク(危険度)を把握している	63.5%	61.0%
ハザードマップを見たことはあるが、自宅付近の災害リスク(危険度)を把握していない	27.8%	23.6%
ハザードマップという言葉聞いたことはあるが、見たことはない	4.8%	9.6%
ハザードマップを知らない	1.0%	1.4%
不明	2.9%	4.4%

(3) 災害に対する備え

問17 あなたは、現在、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

災害への備えについて聞いたところ、「非常食や飲料水など飲食物を備蓄している(62.8%)」、「携帯ラジオ・懐中電灯・非常用トイレなど災害用の備品・消耗品を備蓄している(61.3%)」で、6割以上が災害への備えを行っています。また、「避難行動について、直近1年間で考えたことがある(44.7%)」は、備蓄に比べて16ポイント低い値となっています。1割の方が、「特に何もしていない(10.5%)」でした。



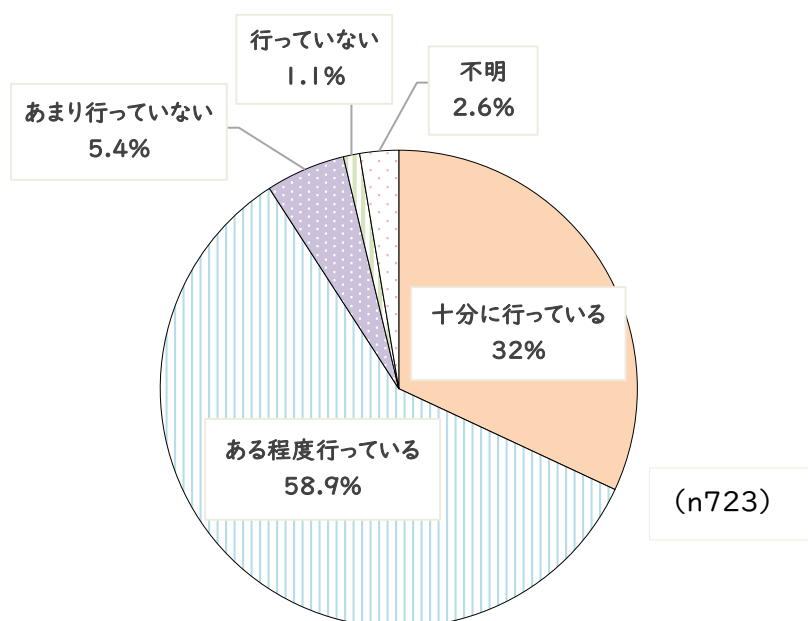
【前回調査との比較】

災害に対する備え	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
非常食や飲料水など飲食物を備蓄している	62.8%	65.2%
携帯ラジオ・懐中電灯・非常用トイレなど災害用の備品・消耗品を備蓄している	61.3%	60.3%
避難行動について、直近1年間で考えたことがある	44.7%	43.7%
その他の備えをしている	10.8%	8.5%
特に何もしていない	10.5%	10.0%
不明	2.6%	6.0%

(4) 熱中症対策

問18 あなたは、暑い時期に熱中症対策を行っていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

暑い時期の熱中症対策について聞いたところ、「十分に行っている(32%)」、「ある程度行っている(58.9%)」で、9割以上が対策を行っています。また、「あまり行っていない」は5.4%、「行っていない」は1.1%という結果でした。



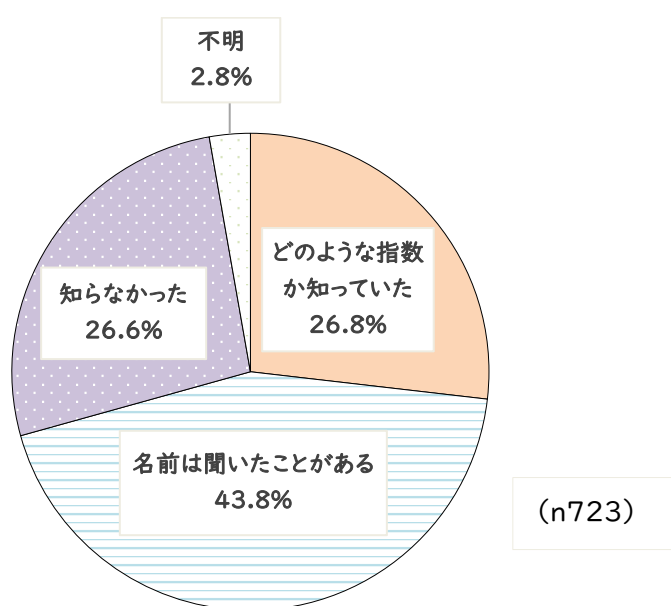
【前回調査との比較】

熱中症対策	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
十分に行っている	32.0%	32.6%
ある程度行っている	58.9%	58.7%
あまり行っていない	5.4%	3.8%
行っていない	1.1%	1.1%
不明	2.6%	3.8%

(5) 暑さ指数(WBGT)への理解

問19 環境省と気象庁では、熱中症予防対策に効果的な情報発信として、「暑さ指数(WBGT)」を基準とした「熱中症警戒アラート」を実施しています。あなたは、「暑さ指数(WBGT)」について知っていますか？あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

暑さ指数(WBGT)について知っているか聞いたところ、「名前は聞いたことがある」と回答した割合が多く43.8%となっています。「暑さ指数(WBGT)」についての認知度は70.6%ですが、「どのような指数か知っていた」と回答したのは26.8%であり、内容まで知っているとは回答した割合は低いことがわかります。



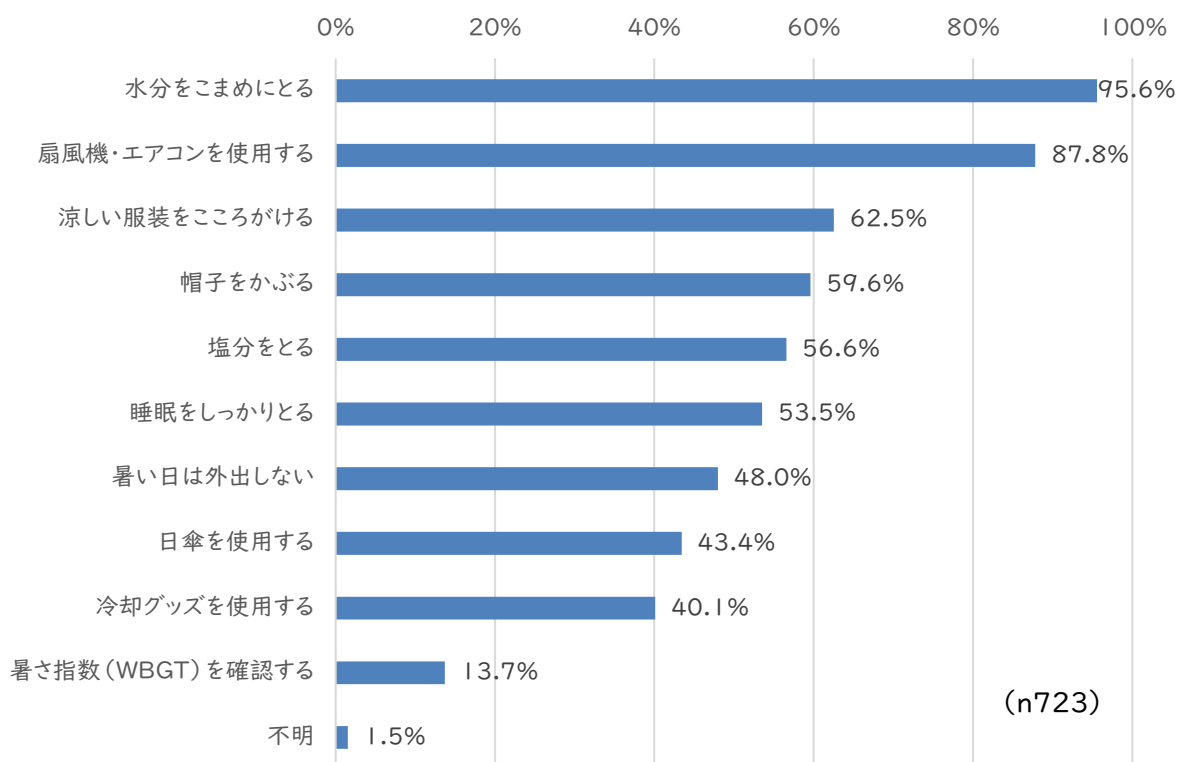
【前回調査との比較】

暑さ指数(WBGT)への理解	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
どのような指数か知っていた	26.8%	23.4%
名前は聞いたことがある	43.8%	42.0%
知らなかった	26.6%	30.5%
不明	2.8%	4.1%

(6) 熱中症対策への取り組み

問20 熱中症対策についてどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

熱中症対策への取り組みについて聞いたところ、最も割合が高かったのは、「水分をこまめにとる（95.6%）」、次いで、「扇風機・エアコンを使用する（87.8%）」、「涼しい服装をこころがける（62.5%）」、「帽子をかぶる（59.6%）」、「塩分をとる（56.6%）」、「睡眠をしっかりとり（53.5%）」となっており、回答者の半数がこのような取り組みを行っている結果となりました。また、「暑さ指数（WBGT）を確認する」と回答した割合は13.7%で他の取り組みと比べ低い割合でした。



【前回調査との比較】

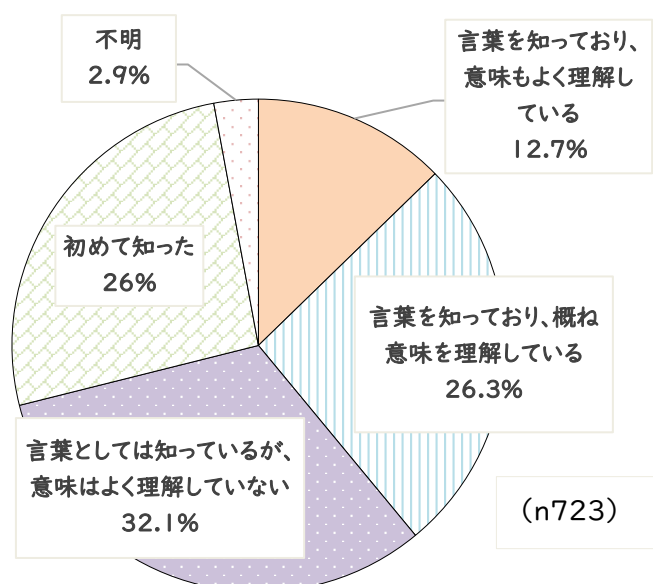
熱中症対策への取り組み	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	723	946
水分をこまめにとる	95.6%	93.3%
扇風機・エアコンを使用する	87.8%	91.2%
涼しい服装をこころがける	62.5%	65.6%
帽子をかぶる	59.6%	57.3%
塩分をとる	56.6%	56.0%
睡眠をしっかりとり	53.5%	50.0%
暑い日は外出しない	48.0%	35.7%
日傘を使用する	43.4%	35.6%
冷却グッズを使用する	40.1%	12.2%
暑さ指数 (WBGT) を確認する	13.7%	12.2%
不明	1.5%	5.0%

2-6 茅ヶ崎市の生物多様性について

(1) 生物多様性への理解

問21 あなたは、生物多様性という言葉とその内容を知っていましたか。以下の1～4の項目のうち、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

生物多様性という言葉について聞いたところ、「言葉を知っており、意味もよく理解している(12.7%)」、「言葉を知っており、概ね意味を理解している(26.3%)」と、概ね意味まで理解している人は39%で、前回調査結果と比べて、9ポイント増加しています。しかし、「初めて知った」割合が26%で、認知度はまだ低い状態となっています。



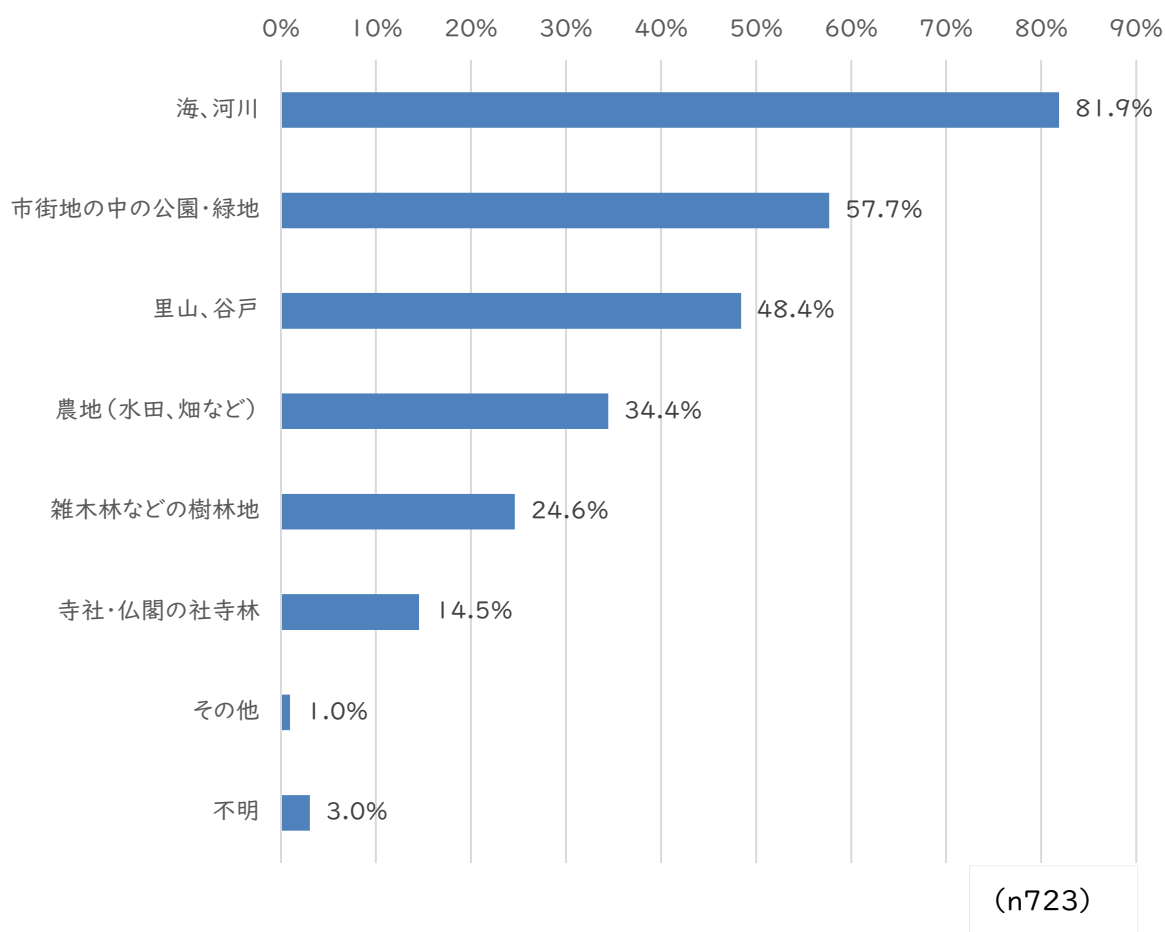
【前回調査との比較】

生物多様性への理解	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	723	687
言葉を知っており、意味もよく理解している	12.7%	7.9%
言葉を知っており、概ね意味を理解している	26.3%	22.1%
言葉としては知っているが、意味はよく理解していない	32.1%	30.0%
初めて知った	26.0%	30.7%
不明	2.9%	9.3%

(2) 保全すべき自然環境

問22 茅ヶ崎市には、海や河川、里山や農地など様々な自然環境がありますが、あなたが特に保全したほうがいいと思う自然環境はどこですか？ あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

保全したほうがよい自然環境を聞いたところ、「海、河川（81.9%）」が最も高く、次いで、「市街地の中の公園・緑地（57.7%）」、「里山、谷戸（48.4%）」となっており、割合の順としては、前回の調査結果と同じとなっています。



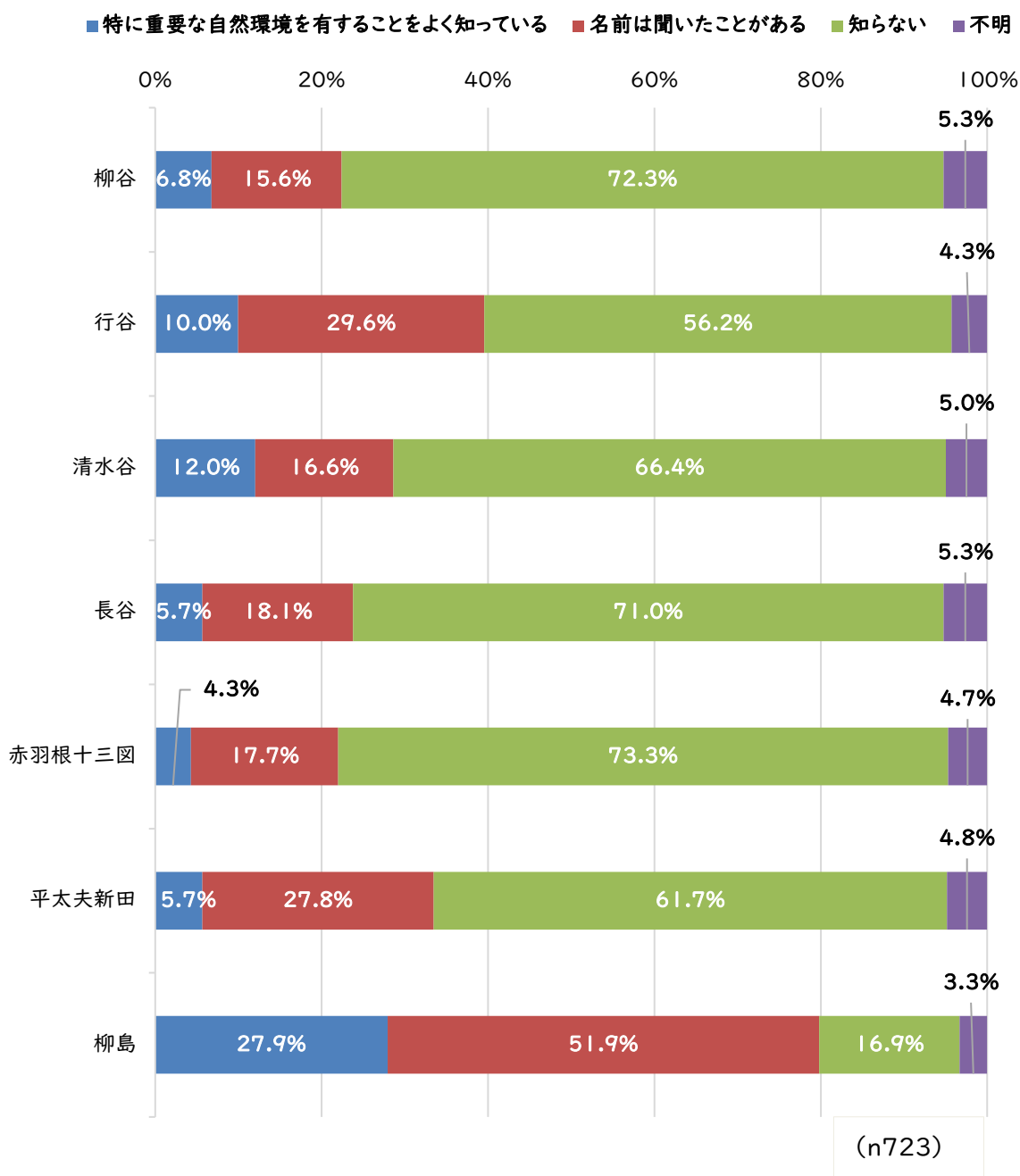
【前回調査との比較】

保全すべき自然環境	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	723	687
海、河川	81.9%	79.5%
市街地の中の公園・緑地	57.7%	52.7%
里山、谷戸	48.4%	45.1%
農地（水田、畑など）	34.4%	30.9%
雑木林などの樹林地	24.6%	23.4%
寺社・仏閣の社寺林	14.5%	14.1%
その他	1.0%	1.3%
不明	3.0%	8.7%

(3) 重要な自然環境を有する地区の認知

問23 市内にある次の7地区(1)～(7)は、特に重要な自然環境を有する地区(茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告(自然環境影響評価マップ)等に掲載)として評価されています。それぞれの地区の自然環境の豊かさについて、どの程度知っていますか。あてはまる番号1～3の中から1つだけ○で囲んでください。

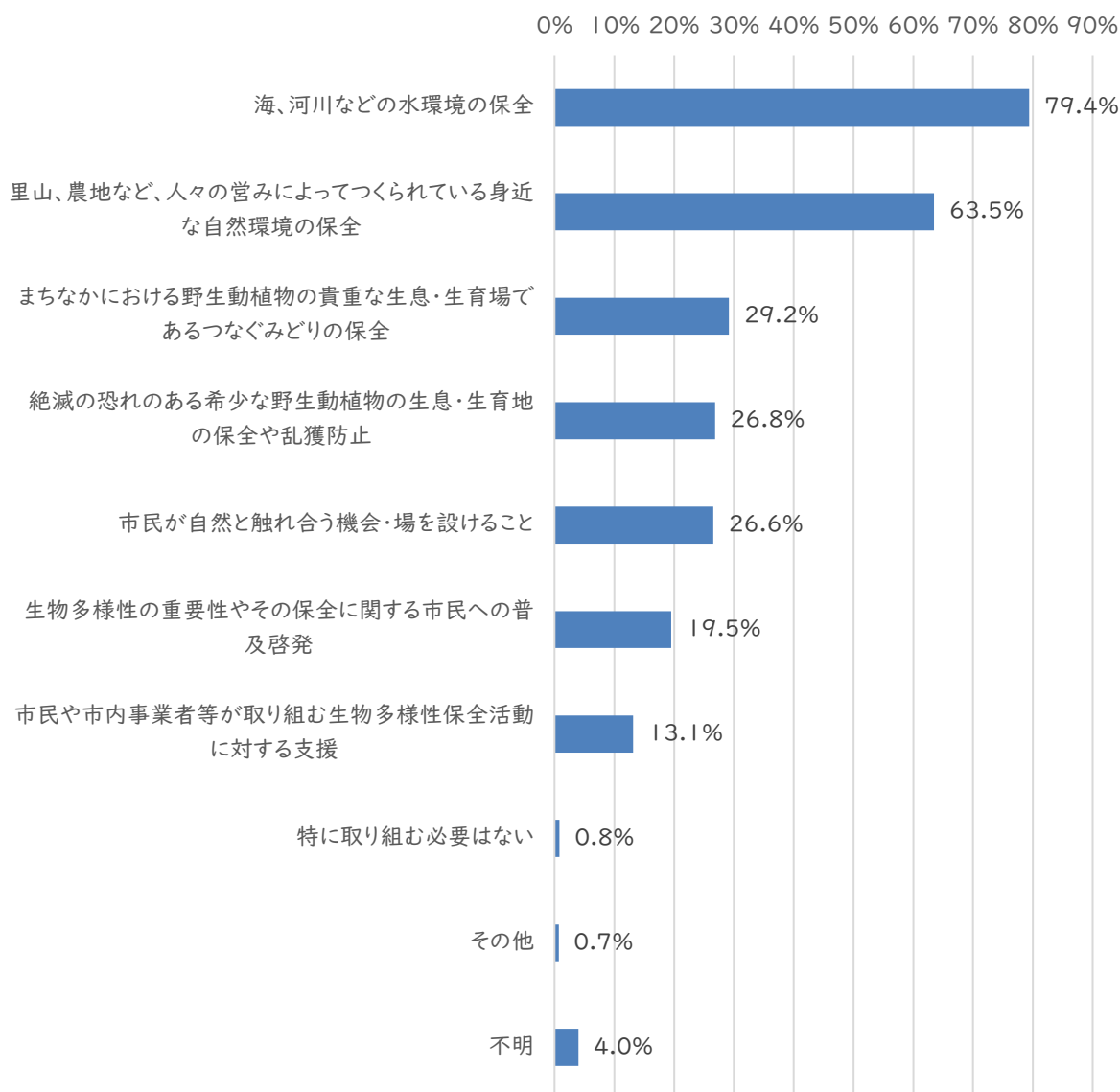
市内の7地区の自然環境の豊かさについての認知を聞いたところ、柳島が一番よく知られており、「特に重要な自然環境を有することをよく知っている」の割合が27.9%でした。その他の地区は、4.3～12.0%となっています。「名前は聞いたことがある」を含めても、同じ傾向を示しており、柳島は79.8%と最も高く、その他の地区は22.0～39.6%の割合になっています。



(4) 生物多様性の保全に重要なこと

問24 あなたは、生物多様性を守っていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。
あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

生物多様性を守っていくうえで重要なことを聞いたところ、「海、河川などの水環境の保全」が79.4%と最も高く、次いで「里山、農地など、人々の営みによってつくられている身近な自然環境の保全」63.5%となっています。



(n723)

【前回調査との比較】

生物多様性の保全に重要なこと	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	723	687
海、河川などの水環境の保全	79.4%	75.7%
里山、農地など、人々の営みによってつくられている身近な自然環境の保全	63.5%	57.9%
まちなかにおける野生動植物の貴重な生息・生育場であるつなぐみどりの保全	29.2%	27.8%
絶滅の恐れのある希少な野生動植物の生息・生育地の保全や乱獲防止	26.8%	27.9%
市民が自然と触れ合う機会・場を設けること	26.6%	23.0%
生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発	19.5%	26.9%
市民や市内事業者等が取り組む生物多様性保全活動に対する支援	13.1%	11.9%
特に取り組む必要はない	0.8%	0.6%
その他	0.7%	1.0%
不明	4.0%	9.3%

2-7 自由意見

最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書きください。

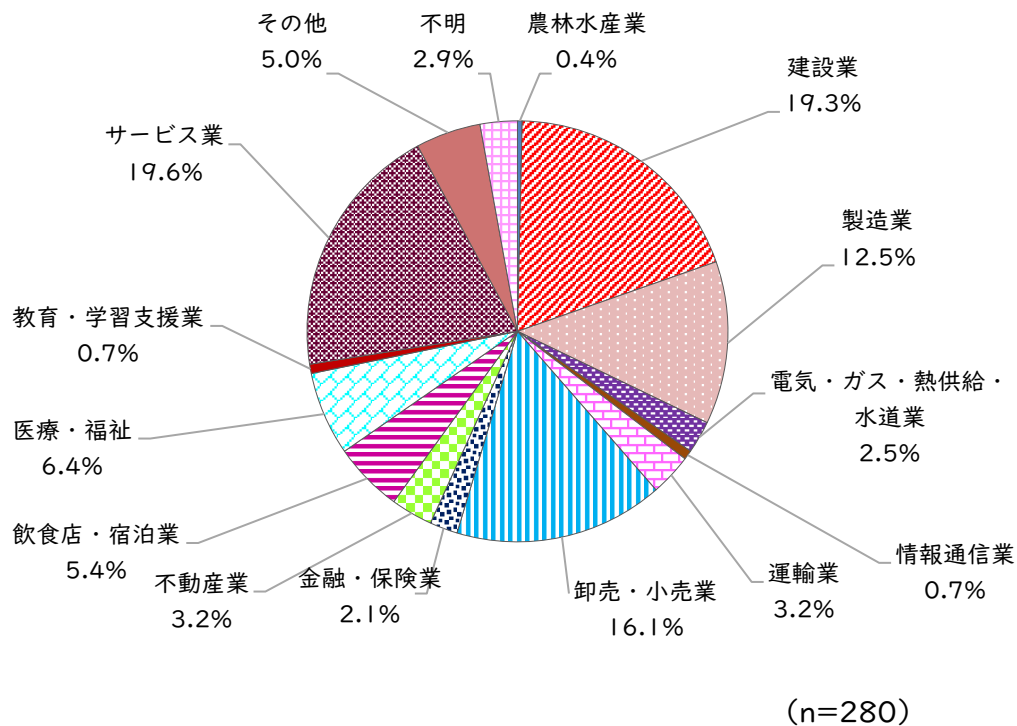
環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、149人(20.6%)の方からの記入がありました。以下は記入内容を、茅ヶ崎市環境基本計画の政策目標1～5に分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は164件となりました。

自由意見	件数
1 自然と人が共生するまち	44
2 良好な生活環境が保全されているまち	45
3 資源を大切に作る循環型のまち	10
4 気候変動に対応できるまち	8
5 環境に配慮した行動を実践するまち	17
その他	40

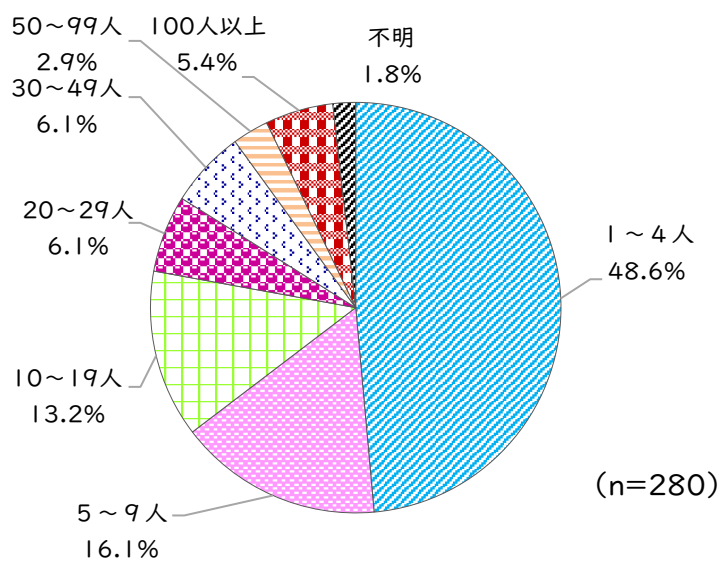
3 事業者アンケート調査の結果

3-1 事業所について

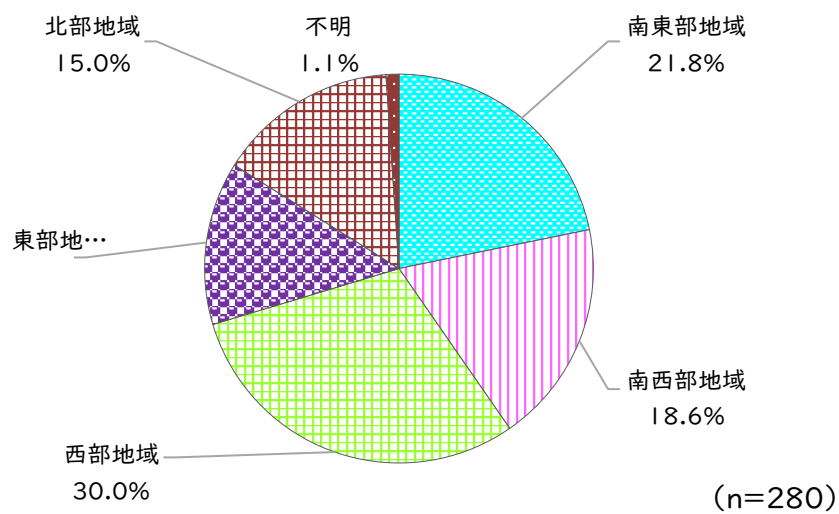
(1) 業種



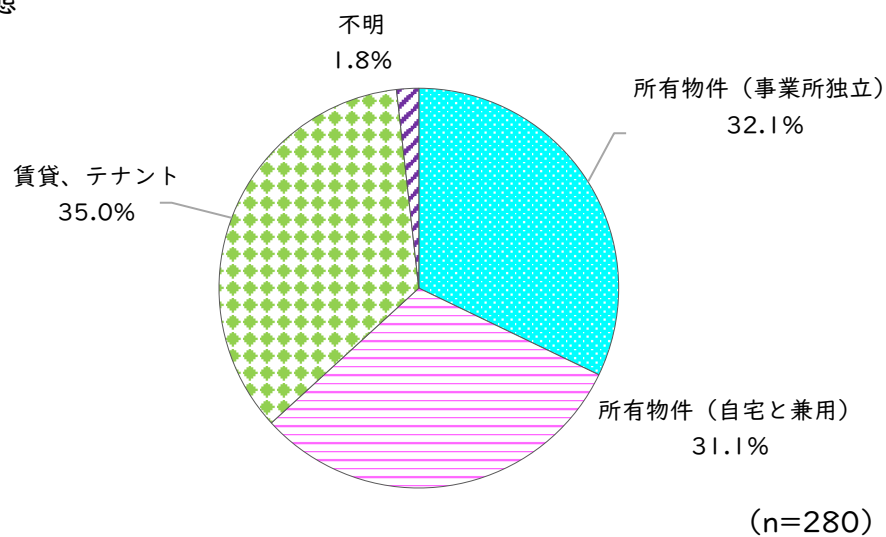
(2) 従業員規模



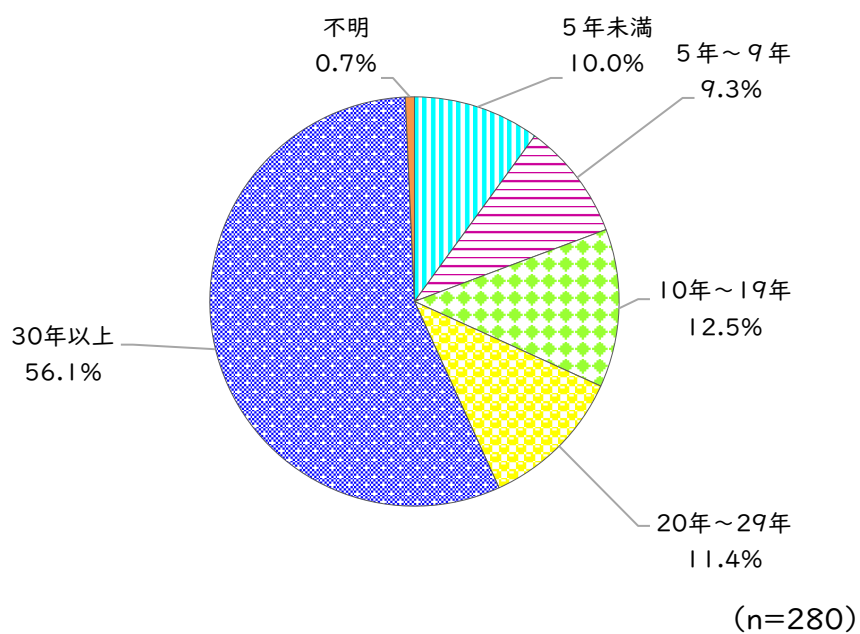
(3) 所在地



(4) 建物の形態



(5) 事業年数



3-2 事業所の環境活動について

(1) 日常業務で実施している環境配慮活動

問6 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮のための活動を実施していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。また、「実施は難しい」と回答した箇所については、実施は難しい理由として最もあてはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

日常業務の中で実施している環境配慮のための活動について聞いたところ、『実施している(計)』で「消灯の徹底」「冷暖房の限定使用」「ごみの減量化」「使用済み製品・容器の回収」「ごみの適正処理」が9割以上となっています。一方、割合が低い活動は「ロスナイスイッチの活用」(21.1%)、「省エネ診断の受診」(27.2%)、「敷地の緑化」(29.7%)、「EMSの導入」(25.4%)となっています。

約3割以上の事業所が実施は難しいと回答した活動は、「ロスナイスイッチの活用」「省エネ診断の受診」「敷地の緑化」「EMSの導入」で、難しい理由としては、「特に理由はない」(3.9～5.7%)「自社には該当しない」(8.9～15.0%)を除くと「コストがかかる」(2.5～13.6%)、「自社物件ではない」(0.4～15.4%)が高い割合となっています。

実施している(計):「常に実施している」「少し実施している」の合計

【前回調査との比較】

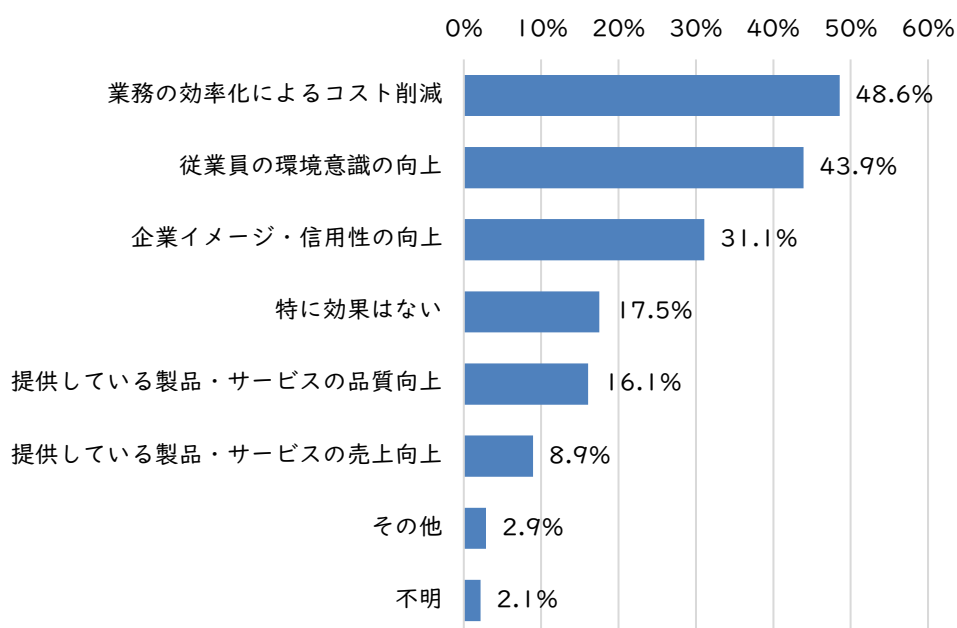
日常業務で実施している 環境配慮活動	調査年度	常に実施 している	少し実施 している	今後実施 したい	実施は 難しい	不明
消灯の徹底	令和5年度	74.6%	19.6%	0.7%	2.5%	2.5%
	令和元年度	72.0%	18.8%	2.6%	2.3%	4.3%
冷暖房の限定使用	令和5年度	81.1%	14.6%	0.4%	2.5%	1.4%
	令和元年度	76.0%	18.1%	1.0%	2.6%	2.3%
冷暖房の室温設定	令和5年度	36.4%	34.3%	15.7%	11.8%	1.8%
	令和元年度	31.6%	37.5%	14.1%	14.1%	2.6%
ロスナイスイッチの活用	令和5年度	12.1%	8.9%	28.2%	47.1%	3.6%
	令和元年度	12.2%	11.2%	32.9%	34.5%	9.2%
機器の保守管理	令和5年度	52.9%	35.7%	6.4%	3.6%	1.4%
	令和元年度	52.3%	33.2%	8.2%	3.0%	3.3%
クールビズ・ウォームビズ	令和5年度	55.7%	30.7%	4.3%	8.2%	1.1%
	令和元年度	55.9%	22.7%	7.2%	10.2%	3.9%
省エネモード設定	令和5年度	55.4%	28.2%	7.5%	7.1%	1.8%
	令和元年度	44.4%	35.5%	8.9%	6.3%	4.9%
省エネ診断の受診	令和5年度	12.9%	14.3%	36.8%	33.9%	2.1%
	令和元年度	12.5%	21.1%	39.1%	21.7%	5.6%
用紙使用量の削減	令和5年度	42.9%	37.9%	8.9%	8.9%	1.4%
	令和元年度	44.1%	36.5%	9.5%	6.3%	3.6%
ごみの減量化	令和5年度	62.1%	28.9%	2.5%	5.0%	1.4%
	令和元年度	35.5%	36.8%	14.1%	8.9%	4.6%
使用済み製品・容器の回収	令和5年度	65.7%	24.6%	2.5%	5.4%	1.8%
	令和元年度	60.2%	23.7%	6.3%	6.3%	3.6%
グリーン購入	令和5年度	25.4%	34.6%	25.0%	11.1%	3.9%
	令和元年度	16.4%	25.3%	30.3%	18.8%	9.2%
エコ・ドライブ	令和5年度	48.2%	37.1%	7.1%	5.7%	1.8%
	令和元年度	44.1%	35.9%	8.9%	6.6%	4.6%
輸配送の効率化	令和5年度	45.7%	30.7%	5.0%	15.7%	2.9%
	令和元年度	44.1%	28.0%	6.9%	14.5%	6.6%
環境配慮型自動車	令和5年度	24.3%	25.7%	25.4%	20.7%	3.9%
	令和元年度	31.6%	24.7%	23.7%	14.5%	5.6%
敷地の緑化	令和5年度	8.6%	21.1%	25.4%	41.4%	3.6%
	令和元年度	17.8%	18.1%	25.7%	33.2%	5.3%
ごみの適正処理	令和5年度	91.1%	6.8%	0.4%	0.7%	1.1%
	令和元年度	83.6%	11.5%	1.0%	1.3%	2.6%
有害物質の適正処理	令和5年度	70.4%	5.7%	1.1%	19.3%	3.6%
	令和元年度	71.1%	7.2%	2.0%	12.8%	6.9%
騒音・悪臭の低減	令和5年度	68.2%	12.1%	1.1%	15.4%	3.2%
	令和元年度	66.1%	13.8%	2.3%	11.2%	6.6%
EMSの導入	令和5年度	14.3%	11.1%	34.3%	34.3%	6.1%
	令和元年度	11.8%	9.5%	36.5%	32.2%	9.9%
環境教育の実施	令和5年度	31.4%	31.8%	18.2%	15.0%	3.6%
	令和元年度	30.9%	29.9%	22.0%	12.2%	4.9%

日常業務で実施している 環境配慮活動	調査年度	実施が難しい理由								
		かかる 手間が かかる	コストが かかる	人材が不足 している	効果がわ からない	事業活動に影 響を及ぼす	自社物件で はないため	特に理由は ない	自社には該 当しない	不明
消灯の徹底	令和5年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.4%	0.4%	0.4%	97.5%
	令和元年度	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
冷暖房の 限定使用	令和5年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.4%	0.4%	97.5%
	令和元年度	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
冷暖房の室温 設定	令和5年度	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	7.5%	0.7%	0.7%	0.0%	90.0%
	令和元年度	0.0%	2.3%	2.3%	9.3%	51.2%	4.7%	4.7%	9.3%	16.3%
ロスナイスイッ チの活用	令和5年度	0.7%	13.6%	0.0%	3.9%	1.1%	10.0%	5.4%	8.9%	56.4%
	令和元年度	1.9%	16.2%	0.0%	13.3%	2.9%	9.5%	9.5%	29.5%	17.1%
機器の 保守管理	令和5年度	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.4%	1.4%	96.4%
	令和元年度	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%
クールビズ・ ウォームビズ	令和5年度	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	2.1%	0.4%	1.1%	3.2%	92.5%
	令和元年度	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%	25.8%	0.0%	6.5%	35.5%	22.6%
省エネモード 設定	令和5年度	0.4%	0.4%	0.0%	1.4%	0.7%	0.0%	1.1%	2.5%	93.6%
	令和元年度	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	57.9%	15.8%
省エネ診断の 受診	令和5年度	1.8%	3.6%	0.7%	2.9%	3.6%	3.2%	5.0%	13.2%	66.1%
	令和元年度	6.1%	15.2%	0.0%	9.1%	1.5%	6.1%	13.6%	33.3%	15.2%
用紙使用量の 削減	令和5年度	0.7%	0.4%	0.4%	0.0%	1.8%	0.0%	0.4%	4.3%	92.1%
	令和元年度	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%	26.3%	0.0%	0.0%	42.1%	21.1%
ごみの減量化	令和5年度	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	3.2%	95.0%
	令和元年度	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	3.7%	74.1%	11.1%
使用済み製品・ 容器の回収	令和5年度	0.7%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	3.2%	95.0%
	令和元年度	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	57.9%	21.1%
グリーン購入	令和5年度	0.0%	0.7%	0.4%	1.1%	0.4%	0.0%	3.2%	3.9%	90.4%
	令和元年度	3.5%	7.0%	0.0%	8.8%	1.8%	7.0%	12.3%	31.6%	28.1%
エコ・ドライブ	令和5年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	0.7%	3.9%	94.3%
	令和元年度	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	10.0%	55.0%	15.0%
輸配送の 効率化	令和5年度	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	14.6%	84.3%
	令和元年度	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	84.1%	11.4%
環境配慮型 自動車	令和5年度	0.4%	4.3%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	0.7%	12.5%	81.1%
	令和元年度	2.3%	25.0%	0.0%	6.8%	0.0%	2.3%	2.3%	50.0%	11.4%
敷地の緑化	令和5年度	3.6%	3.2%	0.4%	1.1%	0.4%	15.4%	3.9%	10.7%	61.4%
	令和元年度	2.0%	6.9%	0.0%	5.0%	4.0%	21.8%	5.9%	33.7%	20.8%
ごみの 適正処理	令和5年度	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	99.3%
	令和元年度	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
有害物質の 適正処理	令和5年度	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	18.6%	80.7%
	令和元年度	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	92.3%	2.6%
騒音・悪臭の 低減	令和5年度	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	85.0%
	令和元年度	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	91.2%	0.0%
EMSの導入	令和5年度	1.4%	2.5%	2.9%	1.4%	0.0%	0.4%	5.7%	15.0%	70.7%
	令和元年度	5.1%	10.2%	2.0%	9.2%	2.0%	4.1%	19.4%	32.7%	15.3%
環境教育の 実施	令和5年度	0.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	10.4%	85.0%
	令和元年度	5.4%	5.4%	2.7%	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	62.2%	13.5%

(2) 環境活動で得られた効果

問7 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動で得られた効果を聞いたところ、「業務の効率化によるコスト削減」が 48.6% で最も高く、次いで「従業員の環境意識の向上」(43.9%)、「企業イメージ・信用性の向上」(31.1%)となっています。
(n=280)



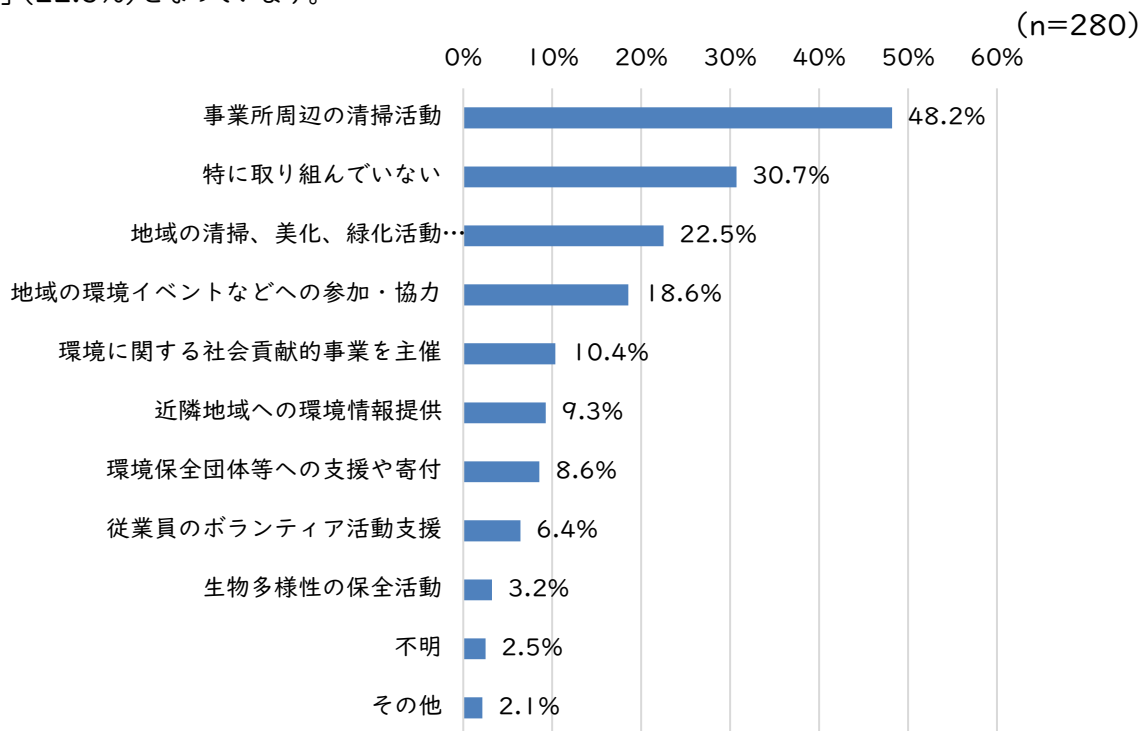
【前回調査との比較】

環境活動で得られた効果	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
業務の効率化によるコスト削減	48.6%	45.7%
従業員の環境意識の向上	43.9%	40.5%
企業イメージ・信用性の向上	31.1%	31.6%
特に効果はない	17.5%	15.1%
提供している製品・サービスの品質向上	16.1%	11.2%
提供している製品・サービスの売上向上	8.9%	5.9%
その他	2.9%	2%
不明	2.1%	6.9%

(3) 地球環境のための取り組み

問8 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取り組みをしていますか。
あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

地域の環境のための取り組み内容について聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動」が48.2%で最も高く、次いで「特に取り組んでいない」(30.7%)、「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力」(22.5%)となっています。



【前回調査との比較】

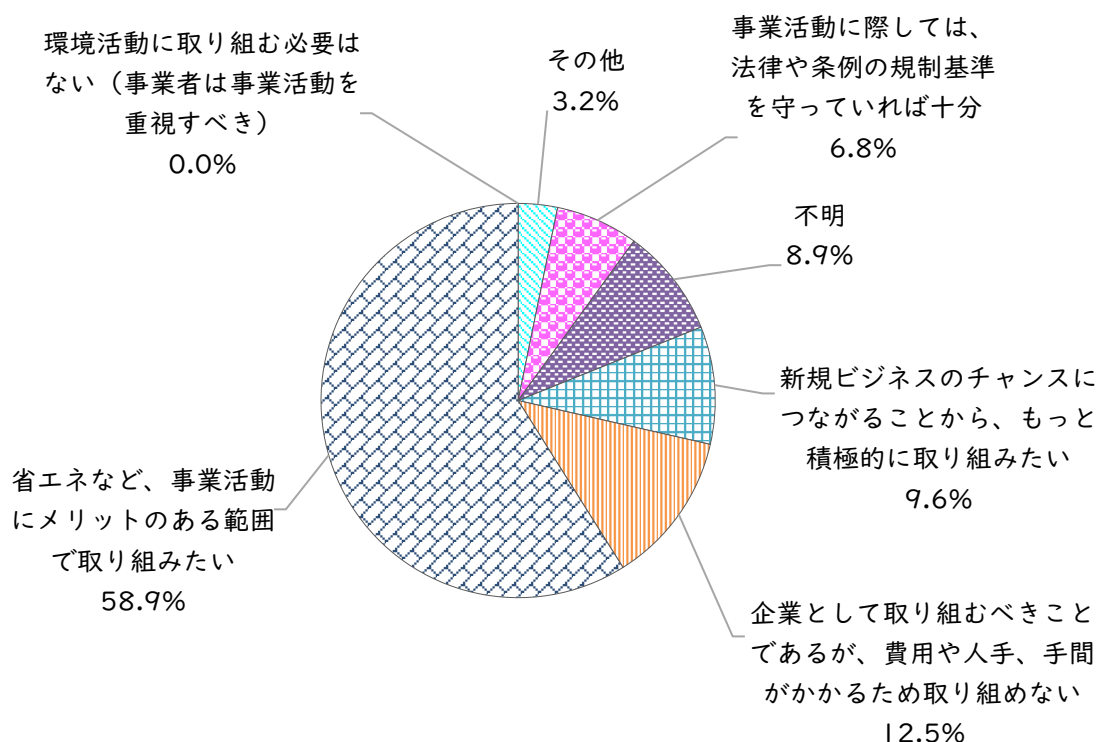
地球環境のための取り組み	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
事業所周辺の清掃活動	48.2%	42.4%
特に取り組んでいない	30.7%	32.9%
地域の清掃、美化、緑化活動の参加・協力	22.5%	24.7%
地域の環境イベントなどへの参加・協力	18.6%	15.5%
環境に関する社会貢献的事業を主催	10.4%	7.9%
従業員のボランティア活動支援	6.4%	5.9%
環境保全団体等への支援や寄付	8.6%	11.2%
近隣地域への環境情報提供	9.3%	4.3%
生物多様性の保全活動	3.2%	3.0%
その他	2.1%	3.0%
不明	2.5%	6.6%

(4) 環境活動に対する考え方

問9 貴事業所では、環境活動について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

環境活動に対する考え方を聞いたところ、「省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい」が6割近くを占めています。一方、1割強の事業所が「費用や人手、手間がかかるため取り組めない」と回答しています。

(n=280)



【前回調査との比較】

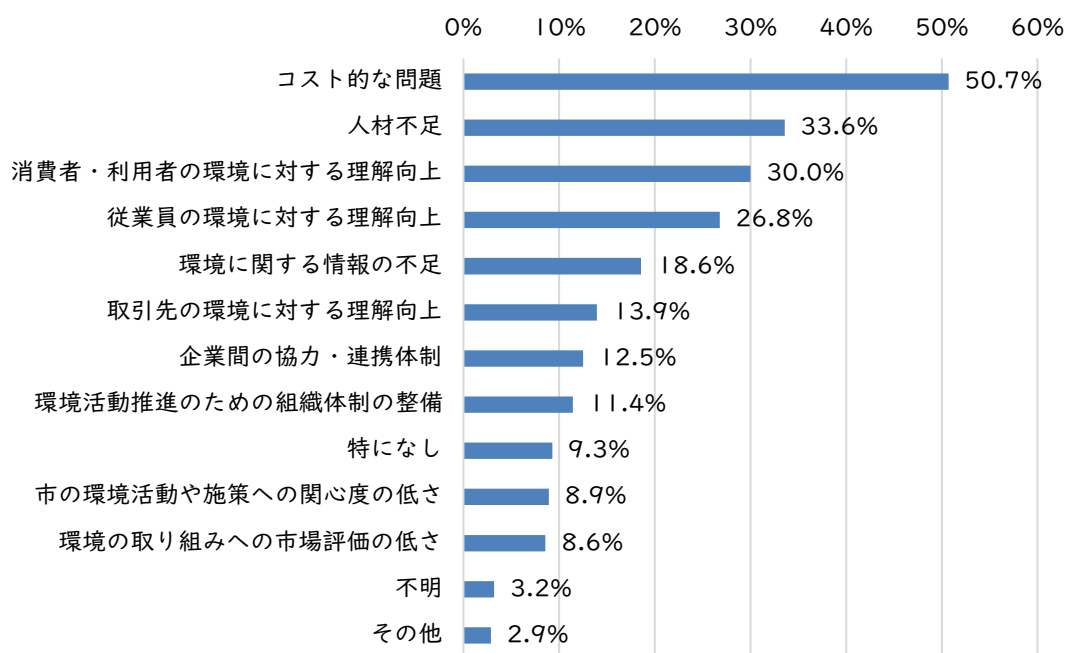
環境活動に対する考え方	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい	58.9%	63.5%
企業として取り組むべきことであるが、費用や人手、手間がかかるため取り組めない	12.5%	10.5%
新規ビジネスのチャンスにつながることから、もっと積極的に取り組みたい	9.6%	5.3%
不明	8.9%	9.5%
事業活動に際しては、法律や条例の規制基準を守っていれば十分	6.8%	7.9%
その他	3.2%	2.3%
環境活動に取り組む必要はない（事業者は事業活動を重視すべき）	0	1.0%

(5) 環境活動の課題

問 10 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。
あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動に対する課題を聞いたところ、「コスト的な問題」が50.7%で最も高く、次いで「人材不足」(33.6%)、「消費者・利用者の環境に対する理解向上」(30.0%)となっています。

(n=280)



【前回調査との比較】

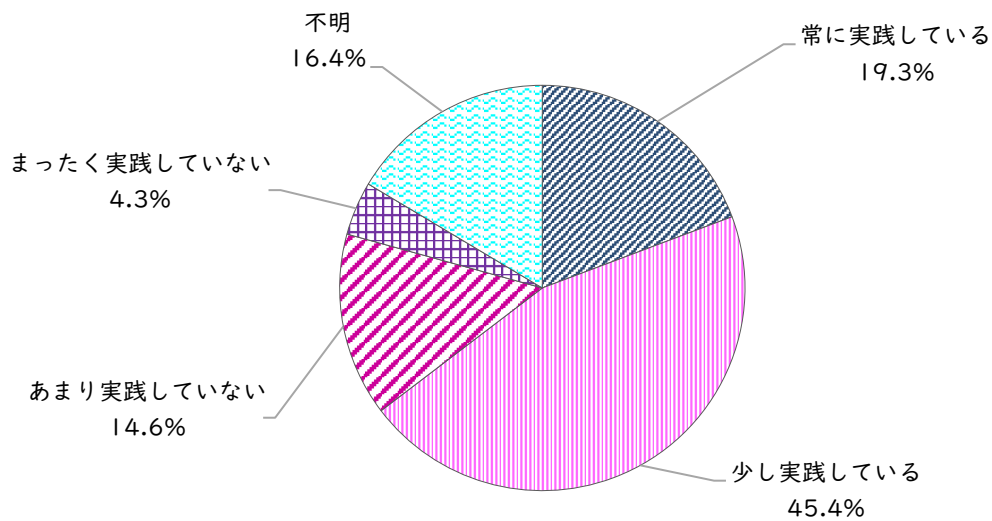
環境活動の課題	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
コスト的な問題	50.7%	39.8%
人材不足	33.6%	18.4%
消費者・利用者の環境に対する理解向上	30.0%	27.0%
従業員の環境に対する理解向上	26.8%	29.6%
環境に関する情報の不足	18.6%	18.1%
企業間の協力・連携体制	12.5%	10.2%
環境活動推進のための組織体制の整備	11.4%	11.8%
特になし	9.3%	8.2%
市の環境活動や施策への関心度の低さ	8.9%	9.5%
環境の取り組みへの市場評価の低さ	8.6%	7.2%
その他	2.9%	1.6%
不明	3.2%	7.2%

3-3 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて

(1) 地球温暖化対策の実践状況

問11 貴事業所内で省エネルギーなど地球温暖化防止への取り組みを実践していますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止への取り組みの実践状況を聞いたところ、約6割の事業者が『実践している(計)』と回答しました。



実施している(計):「常々実施している」「少し実施している」の合計

(n=280)

【前回調査との比較】

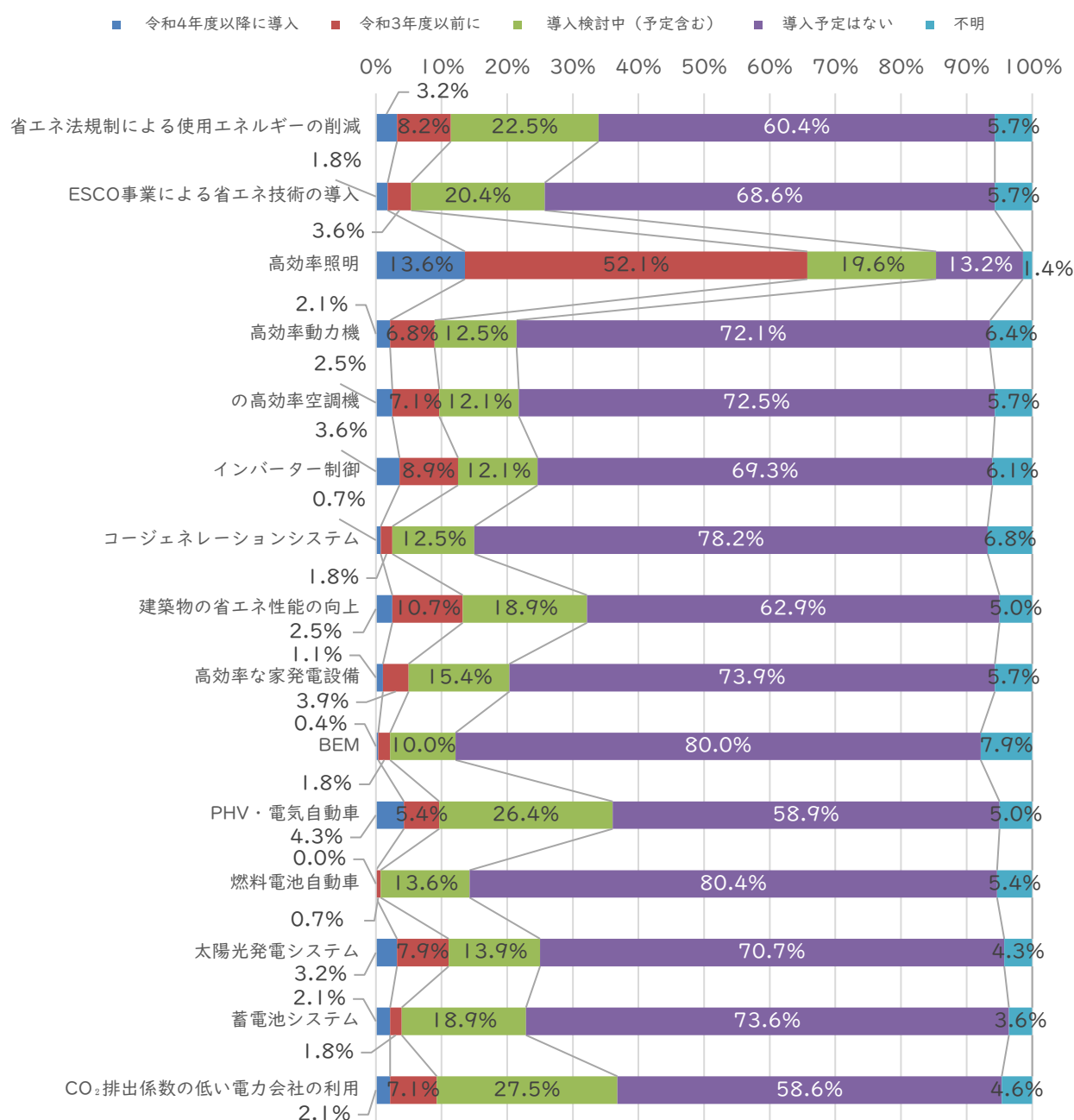
地球温暖化対策の実践状況	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
常々実践している	19.3%	20.1%
少し実践している	45.4%	41.8%
あまり実践していない	14.6%	16.8%
まったく実践していない	4.3%	5.3%
不明	16.4%	16.1%

(2) 地球温暖化防止機器・設備の導入状況

問 12 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。また、「導入予定はない」と回答した箇所については、導入しない理由として最もあてはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

地球温暖化防止機器・設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済(計)』と回答した割合は、LEDなどの「高効率照明」で65.7%と最も高く、次いで「建築物の省エネ性能の向上」(13.2%)となっています。一方、高効率照明を除くすべての項目に対し、5割以上の事業者が「導入予定はない」と回答しています。

(n=280)

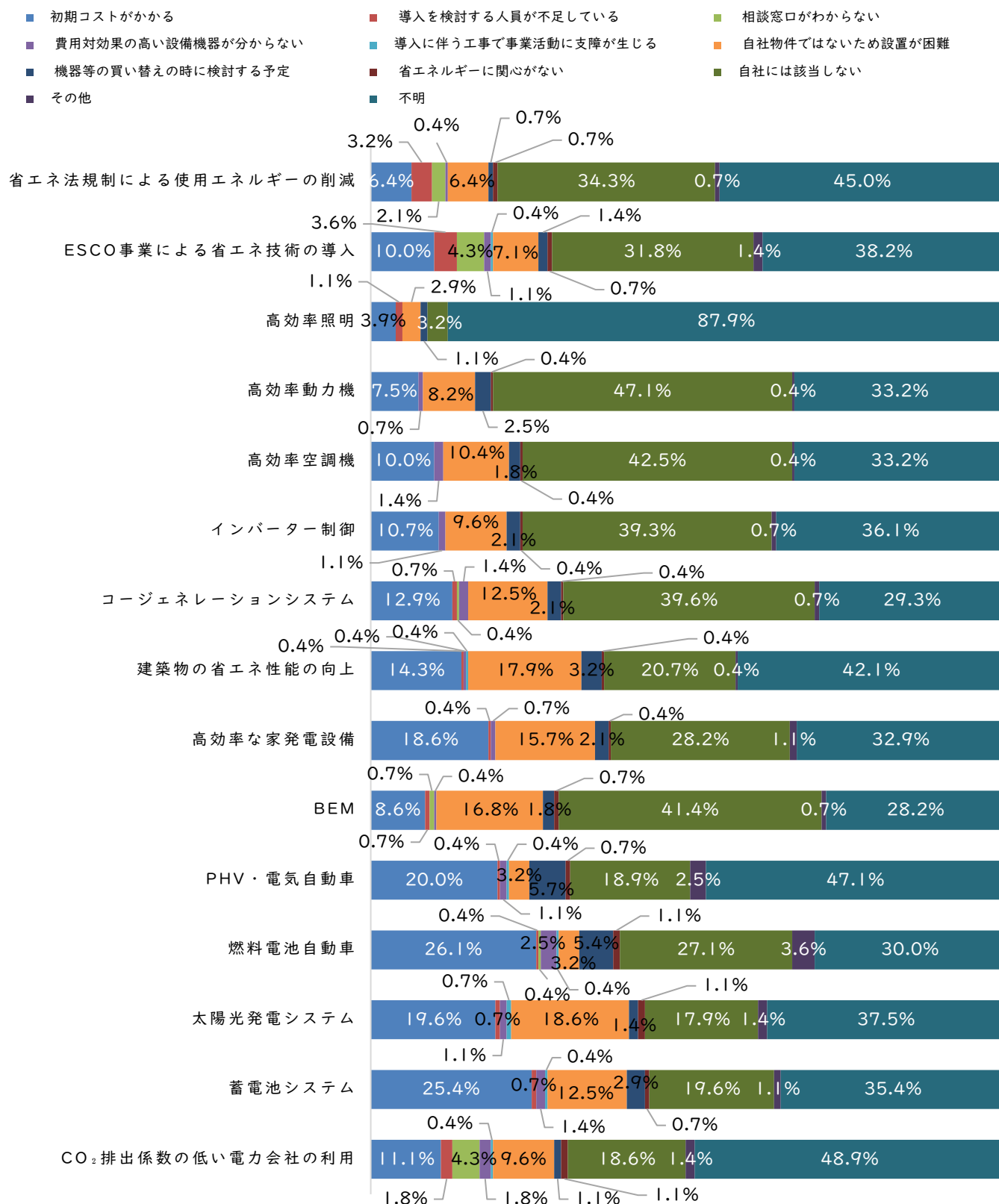


導入済(計):「令和4年度以降に導入」「令和3年度以前に導入」の合計

【導入予定がない理由】

導入予定がないと回答した事業者に理由を聞いたところ、全項目に対して「初期コストがかかる」「自社物件ではないため設置が困難」「自社には該当しない」の理由が高い割合を占めています。

(n=280)



【前回調査との比較】

地球温暖化防止機器・設備の導入状況	調査年度	導入状況				
		前年度以降に導入	前々年度以前に	導入検討中（予定含む）	導入予定はない	不明
省エネ法規制による使用エネルギーの削減	令和5年度	3.2%	8.2%	22.5%	60.4%	5.7%
	令和元年度	2.6%	12.5%	25.3%	43.8%	15.8%
ESCO事業による省エネ技術の導入	令和5年度	1.8%	3.6%	20.4%	68.6%	5.7%
	令和元年度	2.3%	5.6%	20.1%	56.3%	15.8%
高効率照明	令和5年度	13.6%	52.1%	19.6%	13.2%	1.4%
	令和元年度	13.5%	41.1%	25.3%	11.5%	8.6%
高効率動力機	令和5年度	2.1%	6.8%	12.5%	72.1%	6.4%
	令和元年度	2.0%	7.9%	14.5%	61.2%	14.5%
高効率空調機	令和5年度	2.5%	7.1%	12.1%	72.5%	5.7%
	令和元年度	1.6%	4.3%	15.5%	63.2%	15.5%
インバーター制御	令和5年度	3.6%	8.9%	12.1%	69.3%	6.1%
	令和元年度	3.6%	11.2%	13.5%	57.6%	14.1%
コージェネレーションシステム	令和5年度	0.7%	1.8%	12.5%	78.2%	6.8%
	令和元年度	0.3%	1.0%	12.5%	69.7%	16.4%
建築物の省エネ性能の向上	令和5年度	2.5%	10.7%	18.9%	62.9%	5.0%
	令和元年度	3.3%	8.9%	18.4%	56.3%	13.2%
高効率な自家発電設備	令和5年度	1.1%	3.9%	15.4%	73.9%	5.7%
	令和元年度	1.0%	3.6%	11.8%	70.4%	13.2%
BEM	令和5年度	0.4%	1.8%	10.0%	80.0%	7.9%
	令和元年度	0.3%	0.3%	8.2%	74.3%	16.8%
PHV・電気自動車	令和5年度	4.3%	5.4%	26.4%	58.9%	5.0%
	令和元年度	3.3%	9.2%	25.7%	48.0%	13.8%
燃料電池自動車	令和5年度	0.0%	0.7%	13.6%	80.4%	5.4%
	令和元年度	0.0%	0.7%	11.8%	73.4%	14.1%
太陽光発電システム	令和5年度	3.2%	7.9%	13.9%	70.7%	4.3%
	令和元年度	1.0%	5.6%	11.2%	69.7%	12.5%
蓄電池システム	令和5年度	2.1%	1.8%	18.9%	73.6%	3.6%
	令和元年度	0.7%	2.0%	12.2%	72.7%	12.5%
CO ₂ 排出係数の低い電力会社の利用	令和5年度	2.1%	7.1%	27.5%	58.6%	4.6%
	令和元年度	0.7%	3.9%	25.0%	56.6%	13.8%

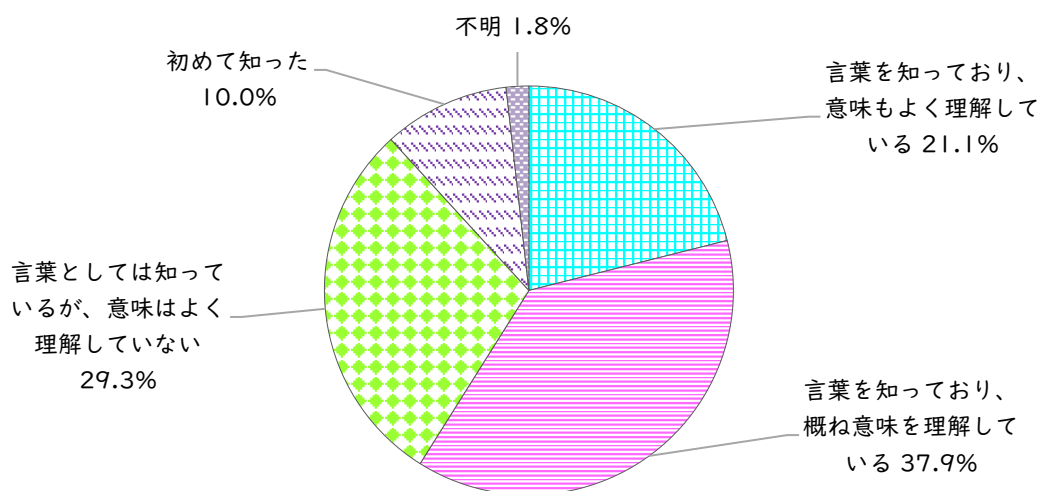
		導入予定がない理由										
地球温暖化防止機器・設備の導入状況	調査年度	初期コストがかかる	導入を検討する人員が不足している	相談窓口がわからない	費用対効果の高い設備機器が分からない	導入に伴う工事・事業活動に支障が生じる	自社物件ではないため設置が困難	機器等の買い替えの時に検討する予定	省エネルギーに関心がない	自社には該当しない	その他	不明
省エネ法規制による使用エネルギーの削減	令和5年度	6.4%	3.2%	2.1%	0.4%	0.0%	6.4%	0.7%	0.7%	34.3%	0.7%	45.0%
	令和元年度	10.5%	2.3%	6.8%	1.5%	1.5%	14.3%	3.0%	4.5%	42.9%	3.0%	9.8%
ESCO事業による省エネ技術の導入	令和5年度	10.0%	3.6%	4.3%	1.1%	0.4%	7.1%	1.4%	0.7%	31.8%	1.4%	38.2%
	令和元年度	12.3%	4.7%	7.0%	3.5%	1.8%	11.1%	1.8%	3.5%	38.0%	4.1%	12.3%
高効率照明	令和5年度	3.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.1%	0.0%	3.2%	0.0%	87.9%
	令和元年度	22.9%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	20.0%	14.3%	2.9%	22.9%	2.9%	5.7%
高効率動力機	令和5年度	7.5%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	8.2%	2.5%	0.4%	47.1%	0.4%	33.2%
	令和元年度	12.4%	1.1%	0.5%	0.5%	0.5%	11.8%	4.8%	2.2%	55.4%	2.2%	8.6%
高効率空調機	令和5年度	10.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	10.4%	1.8%	0.4%	42.5%	0.4%	33.2%
	令和元年度	15.1%	1.0%	1.0%	3.1%	1.0%	10.9%	5.2%	1.0%	49.5%	3.6%	8.3%
インバーター制御	令和5年度	10.7%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	9.6%	2.1%	0.4%	39.3%	0.7%	36.1%
	令和元年度	15.4%	1.1%	1.1%	2.3%	1.1%	13.1%	6.3%	1.1%	46.9%	3.4%	8.0%
コージェネレーションシステム	令和5年度	12.9%	0.7%	0.4%	1.4%	0.0%	12.5%	2.1%	0.4%	39.6%	0.7%	29.3%
	令和元年度	11.8%	1.9%	2.8%	1.9%	0.9%	10.4%	2.8%	1.4%	53.3%	3.8%	9.0%
建築物の省エネ性能の向上	令和5年度	14.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%	17.9%	3.2%	0.4%	20.7%	0.4%	42.1%
	令和元年度	20.5%	1.8%	0.0%	1.8%	3.5%	21.6%	7.0%	1.2%	28.7%	4.7%	9.9%
高効率な自家発電設備	令和5年度	18.6%	0.4%	0.0%	0.7%	0.0%	15.7%	2.1%	0.4%	28.2%	1.1%	32.9%
	令和元年度	22.4%	1.9%	0.9%	3.3%	0.9%	13.1%	4.2%	1.4%	38.3%	3.7%	9.8%
BEM	令和5年度	8.6%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%	16.8%	1.8%	0.7%	41.4%	0.7%	28.2%
	令和元年度	13.7%	0.9%	2.7%	1.8%	1.3%	12.8%	2.2%	1.3%	50.0%	3.1%	10.2%
PHV・電気自動車	令和5年度	20.0%	0.4%	0.0%	1.1%	0.4%	3.2%	5.7%	0.7%	18.9%	2.5%	47.1%
	令和元年度	28.1%	2.1%	0.0%	0.0%	1.4%	3.4%	10.3%	1.4%	37.0%	4.8%	11.0%
燃料電池自動車	令和5年度	26.1%	0.4%	0.4%	2.5%	0.4%	3.2%	5.4%	1.1%	27.1%	3.6%	30.0%
	令和元年度	32.7%	1.3%	1.3%	4.0%	0.9%	2.2%	7.6%	1.3%	34.1%	3.6%	10.8%
太陽光発電システム	令和5年度	19.6%	0.7%	0.0%	1.1%	0.7%	18.6%	1.4%	1.1%	17.9%	1.4%	37.5%
	令和元年度	30.2%	1.4%	0.9%	2.8%	1.9%	17.0%	4.2%	1.4%	25.5%	3.8%	10.8%
蓄電池システム	令和5年度	25.4%	0.7%	0.0%	1.4%	0.4%	12.5%	2.9%	0.7%	19.6%	1.1%	35.4%
	令和元年度	28.5%	1.4%	0.5%	3.6%	0.5%	13.6%	3.6%	1.4%	32.1%	3.2%	11.8%
CO ₂ 排出係数の低い電力会社の利用	令和5年度	11.1%	1.8%	4.3%	1.8%	0.4%	9.6%	1.1%	1.1%	18.6%	1.4%	48.9%
	令和元年度	11.0%	4.1%	12.2%	4.1%	0.6%	15.1%	1.7%	2.3%	31.4%	4.1%	13.4%

3-4 事業所の気候変動への適応の取り組みについて

(1) 気候変動への適応の言葉と内容

問13 貴事業所は、気候変動への適応という言葉とその内容を知っていましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

気候変動への適応について聞いたところ、「言葉を知っており、意味もよく理解している(21.1%)」、「言葉を知っており、概ね意味を理解している(37.9%)」で、概ね意味まで理解している人は59%でした。(n=280)



言葉を知っており、意味もよく理解している(計):「言葉を知っており、意味もよく理解している」「言葉を知っており、概ね意味を理解している」の合計

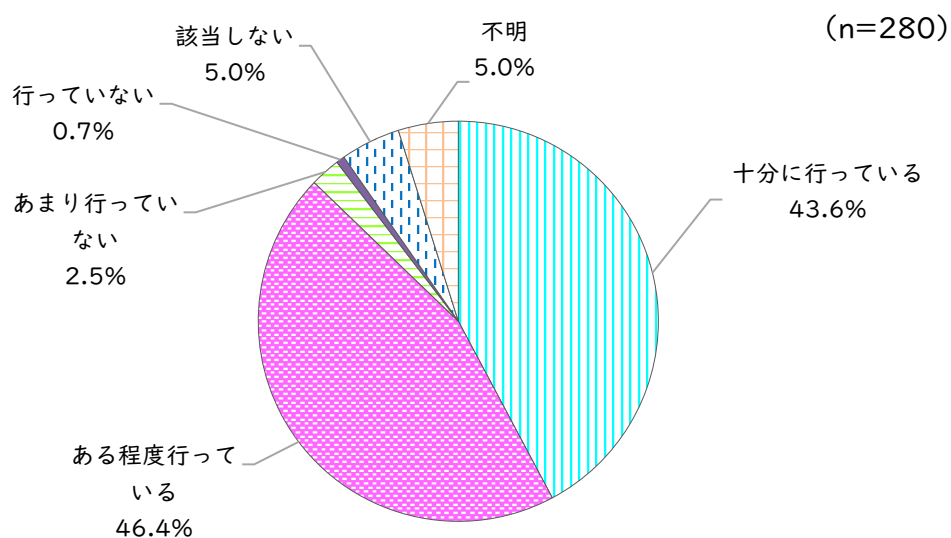
【前回調査との比較】

気候変動への適応の言葉と内容	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	280	367
言葉を知っており、意味もよく理解している	21.1%	17.7%
言葉を知っており、概ね意味を理解している	37.9%	39.0%
言葉としては知っているが、意味はよく理解していない	29.3%	26.7%
初めて知った	10.0%	10.9%
不明	1.8%	5.7%

(2) 熱中症対策の実施状況

問14 貴事業所において、暑い時期に従業員に向けて熱中症対策を行っていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

暑い時期の従業員向けの熱中症対策について聞いたところ、「十分に行っている(43.6%)」、「ある程度行っている(46.4%)」で、9割の事業所が対策を行っています。また、「あまり行っていない」は2.5%、「行っていない」は0.7%という結果でした。



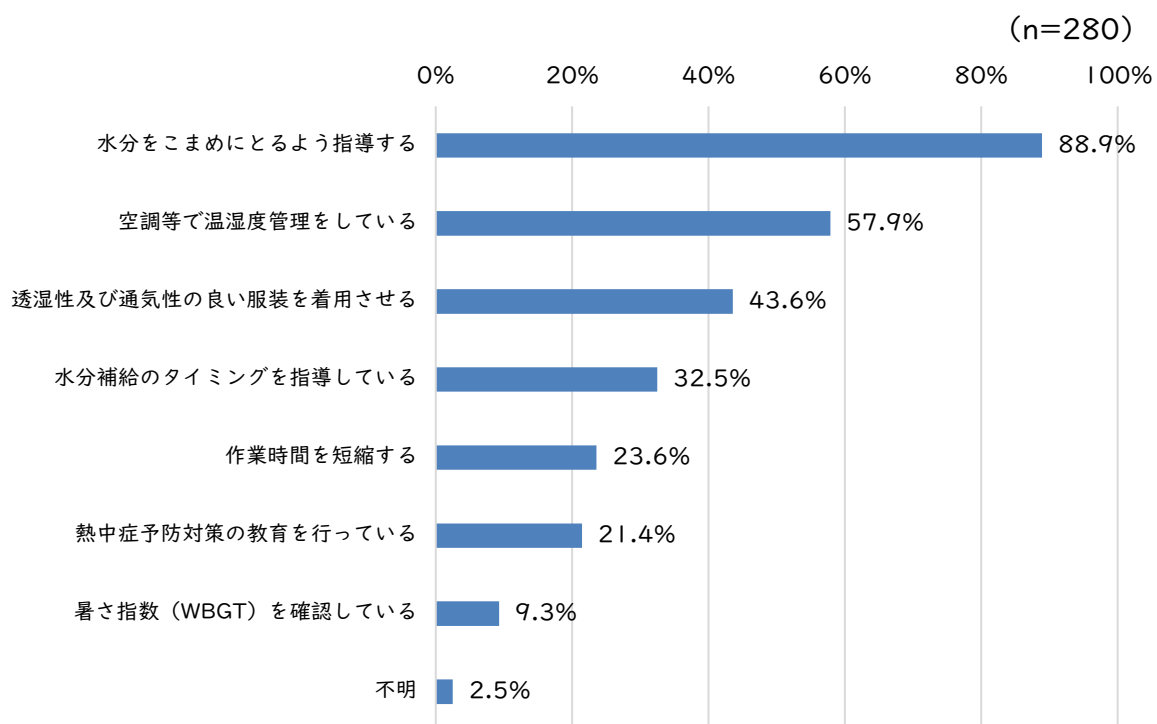
【前回調査との比較】

熱中症対策の実施状況	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	280	367
十分に行っている	43.6%	36.0%
ある程度行っている	46.4%	49.6%
あまり行っていない	2.5%	2.5%
行っていない	0.7%	0.5%
該当しない	5.0%	5.7%
不明	2.6%	5.7%

(3) 熱中症対策の取り組み

問15 貴事業所において、熱中症対策についてどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

熱中症対策への取り組みについて聞いたところ、最も割合が高かったのは、「水分をこまめにとる（88.9%）」、次いで、「空調等で温湿度管理をしている（57.9%）」となっており、回答者の半数がこのような取り組みを行っている結果となりました。また、「暑さ指数（WBGT）を確認する」と回答した割合は9.3%で他の取り組みと比べ低い割合でした。



【前回調査との比較】

熱中症対策の取り組み	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	280	367
水分をこまめにとるよう指導する	88.9%	85.3%
空調等で温湿度管理をしている	57.9%	57.5%
透湿性及び通気性の良い服装を着用させる	43.6%	37.9%
水分補給のタイミングを指導する	32.5%	26.7%
作業時間を短縮する	23.6%	21.8%
熱中症予防対策の教育を行っている	21.4%	20.7%
暑さ指数(WBGT)を確認する	9.3%	11.2%
不明	2.5%	-

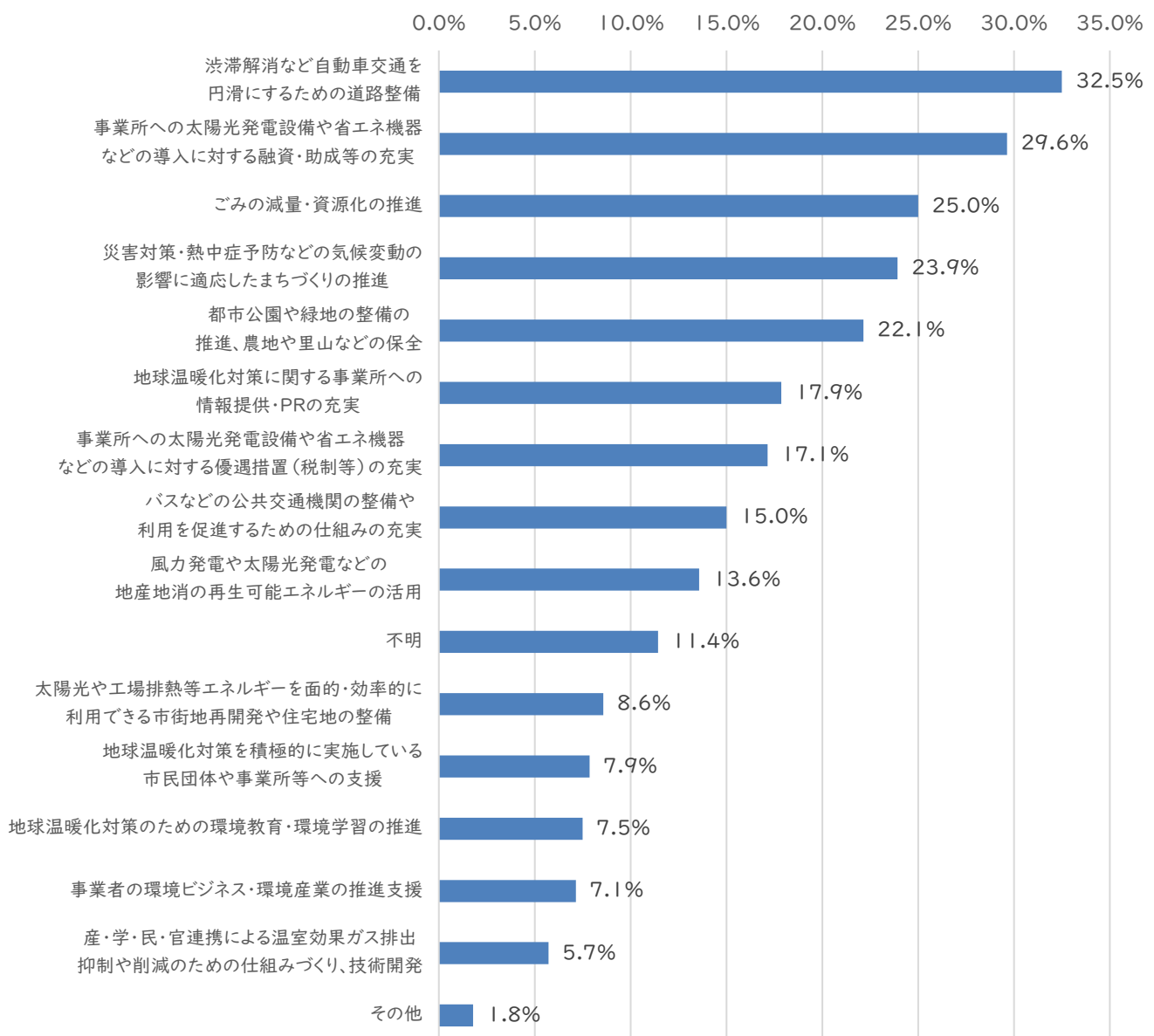
3-5 茅ヶ崎市の環境・市政について

(1) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策

問 16 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策を聞いたところ、「渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備」が 32.5%と最も高く、次いで、「事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する融資・助成等の充実」(29.6%)、「ごみの減量・資源化の推進」(25.0%)、「災害対策・熱中症予防などの気候変動の影響に適応したまちづくりの推進」(23.9%)となっています。

(n=280)



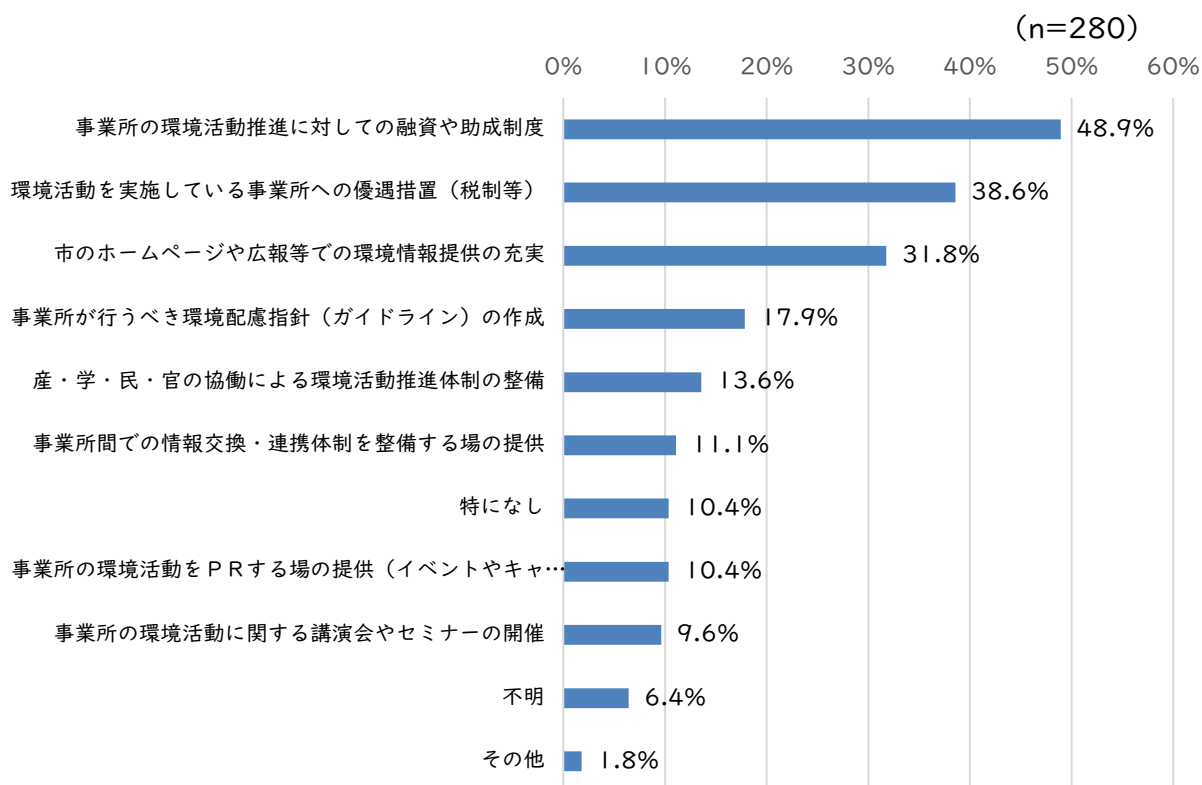
【前回調査との比較】

市が重点的に進めるべき地球温暖化対策	令和5年度	令和元年度 ※については令和 2年度調査による
回答者数(n)	280	304 367※
地球温暖化対策に関する事業所への情報提供・PRの充実	17.9%	22.4%
事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する 融資・助成等の充実	29.6%	24.7%
事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する 優遇措置(税制等)の充実	17.1%	19.7%
風力発電や太陽光発電などの地産地消の再生可能エネルギーの活用	13.6%	16.1%
太陽光や工場排熱等エネルギーを面的・効率的に利用できる 市街地再開発や住宅地の整備	8.6%	8.9%
渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備	32.5%	37.8%
バスなどの公共交通機関の整備や利用を促進するための仕組みの充実	15.0%	24.7%
都市公園や緑地の整備の推進、農地や里山などの保全	22.1%	20.4%
産・学・民・官連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための 仕組みづくり、技術開発	5.7%	9.5%
ごみの減量・資源化の推進	25.0%	36.2%
地球温暖化対策を積極的に実施している市民団体や事業所等 への支援	7.9%	8.2%
地球温暖化対策のための環境教育・環境学習の推進	7.5%	7.6%※
事業者の環境ビジネス・環境産業の推進支援	7.1%	5.4%※
災害対策・熱中症予防などの気候変動の影響に適応したまち づくりの推進	23.9%	19.9%※
その他	1.8%	1.3%
不明	11.4%	12.8%

(2) 望ましい市からのサポート

問 17 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

環境活動を進めるために行政に望むことを聞いたところ、「事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度」が48.9%と最も高く、次いで「環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）」（38.6%）、「市のホームページや広報等での環境情報提供の充実」（31.8%）となっています。



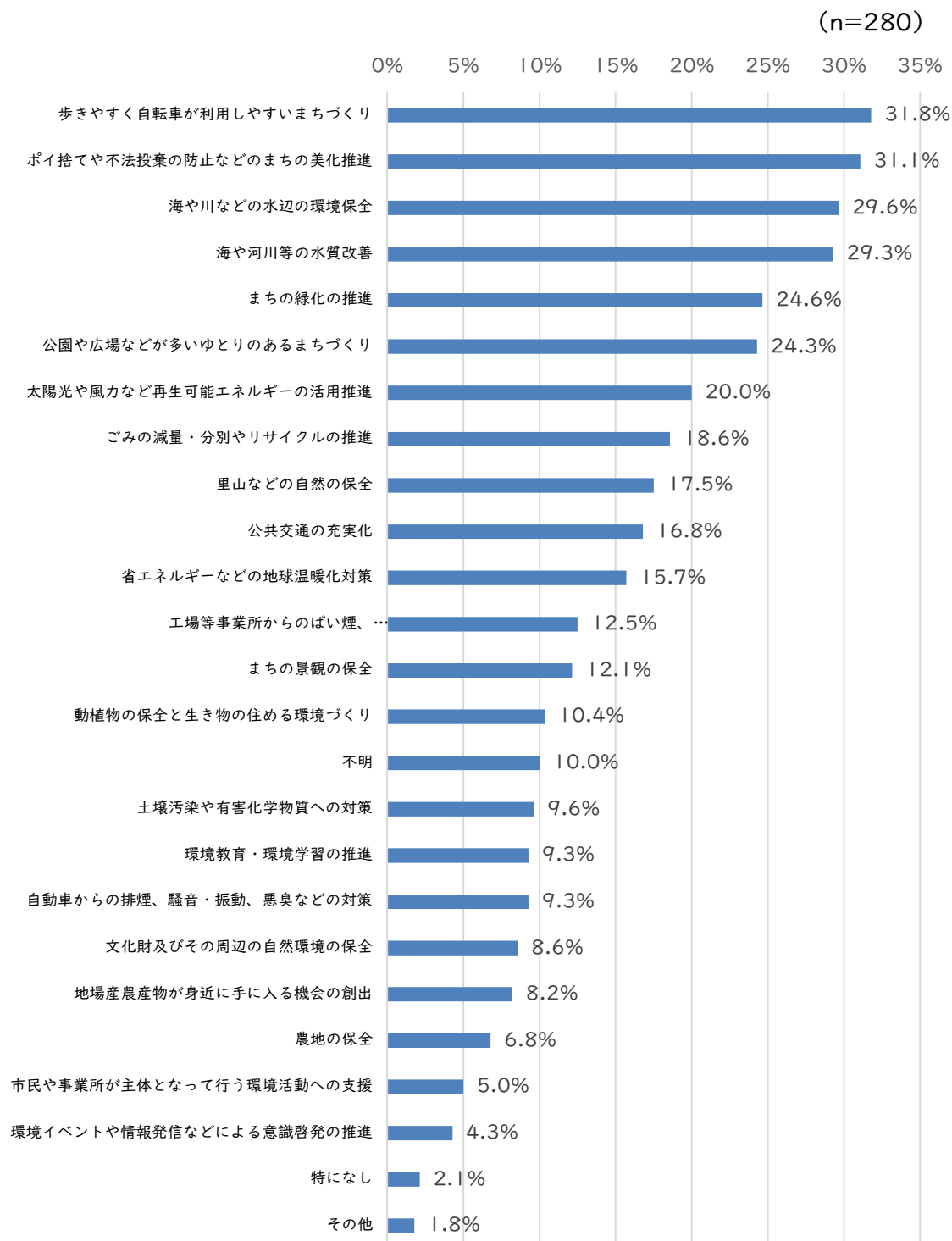
【前回調査との比較】

望ましい市からのサポート	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度	48.9%	42.8%
環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）	38.6%	35.5%
市のホームページや広報等での環境情報提供の充実	31.8%	28.6%
事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成	17.9%	24.0%
産・学・民・官の協働による環境活動推進体制の整備	13.6%	18.8%
事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供	11.1%	7.9%
特になし	10.4%	8.2%
事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施）	10.4%	9.9%
事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催	9.6%	10.9%
不明	6.4%	11.2%
その他	1.8%	3.6%

(3) 市が重点的に取り組むべき環境対策

問 18 茅ヶ崎市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への対策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境対策を聞いたところ、「歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり」が31.8%と最も高く、次いで、「ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進」(31.1%)、「海や川などの水辺の環境保全」(29.6%)となっています。



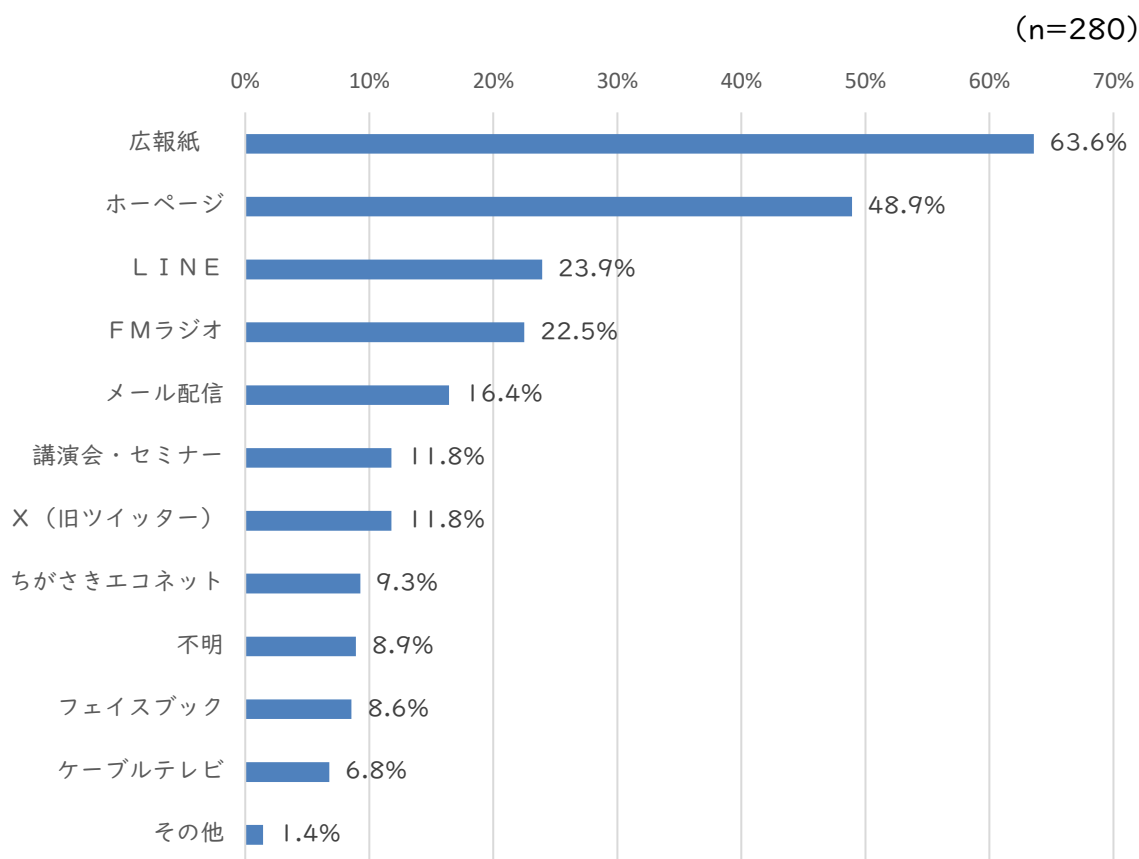
【前回調査との比較】

市が重点的に取り組むべき環境対策	令和5年度	令和元年度
回答者数(n)	280	304
歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり	31.8%	30.9%
ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進	31.1%	31.6%
海や川などの水辺の環境保全	29.6%	34.5%
海や河川等の水質改善	29.3%	31.9%
まちの緑化の推進	24.6%	11.8%
公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり	24.3%	20.7%
太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用推進	20.0%	16.1%
ごみの減量・分別やりサイクルの推進	18.6%	26.6%
里山などの自然の保全	17.5%	19.7%
公共交通の充実化	16.8%	20.1%
省エネルギーなどの地球温暖化対策	15.7%	10.2%
工場等事業所からのばい煙、排煙、騒音・振動、悪臭などの対策	12.5%	19.7%
まちの景観の保全	12.1%	20.1%
動植物の保全と生き物の住める環境づくり	10.4%	12.2%
不明	10.0%	13.2%
土壌汚染や有害化学物質への対策	9.6%	9.5%
環境教育・環境学習の推進	9.3%	8.2%
自動車からの排煙、騒音・振動、悪臭などの対策	9.3%	14.1%
文化財及びその周辺の自然環境の保全	8.6%	4.9%
地場産農産物が身近に手に入る機会の創出	8.2%	6.9%
農地の保全	6.8%	6.9%
市民や事業所が主体となって行う環境活動への支援	5.0%	7.9%
環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進	4.3%	5.6%
特になし	2.1%	0.3%
その他	1.8%	2.0%

(4) 市から情報提供の媒体

問19 今後、地球温暖化対策に関する知識や情報について、市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいか聞いたところ、「広報紙」が63.6%と最も高く、次いで、「ホームページ」(48.9%)、「LINE」(23.9%)となっています。



【前回調査との比較】

市から情報提供の媒体	令和5年度	令和2年度
回答者数(n)	280	367
広報紙	63.6%	73.6%
ホームページ	48.9%	51.2%
LINE	23.9%	—
FMラジオ	22.5%	9.8%
メール配信	16.4%	15.3%
講演会・セミナー	11.8%	16.3%
X(旧ツイッター)	11.8%	7.1%
ちがさきエコネット	9.3%	16.3%
不明	8.9%	—
フェイスブック	8.6%	9.8%
ケーブルテレビ	6.8%	14.2%
その他	1.4%	2.7%

3-6 自由意見

最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書きください。

環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、34社（12.1％）からの記入がありました。以下は記入内容を、茅ヶ崎市環境基本計画の政策目標1～5に分類し表にまとめたものです。1社で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は35件となりました。

分 類	件数
1 自然と人が共生するまち	6
2 良好な生活環境が保全されているまち	5
3 資源を大切に作る循環型のまち	2
4 気候変動に対応できるまち	5
5 環境に配慮した行動を実践するまち	9
その他	8